様式1

大学等名	愛媛大学
プログラム名	愛媛大学ICT/DS/AI 教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位　大学等全体のプログラム　② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件　学部・学科によって、修了要件は相違しない

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件

数学入門（データリテラシー入門）□数学入門（データリテラシー入門プラス）、理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）、情報リテラシー入門Ⅰ、情報リテラシー入門Ⅱの5科目6単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数　5 科目　6 単位　履修必須の有無　令和9年度以降に履修必須とする計画、又は未定

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ．データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
数学入門（データリテラシー入門）	1	○	○		○								
数学入門（データリテラシー入門プラス）	1	○			○	○							
理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）	2	○			○								
情報リテラシー入門Ⅰ	1	○		○	○								
情報リテラシー入門Ⅱ	1	○	○	○	○								

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ．AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9
数学入門（データリテラシー入門）	1	○	○	○			○														
数学入門（データリテラシー入門プラス）	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）	2	○	○	○		○		○	○	○											
情報リテラシー入門Ⅰ	1	○		○	○		○														
情報リテラシー入門Ⅱ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○											

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ．AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）	2	○			

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
数学入門（データリテラシー入門）	データサイエンス応用基礎		
数学入門（データリテラシー入門プラス）	データサイエンス応用基礎		
理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）	データエンジニアリング応用基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
（1）データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎（統計数理、線形代数、微分積分）」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6	・代表値（平均値、中央値、最頻値）、分散、標準偏差 「データリテラシー入門」（3回目） ・相関係数、相関関係と因果関係 「データリテラシー入門」(4回目） ・点推定と区間推定 「データリテラシー入門」(6回目） ・代表値（平均値、中央値、最頻値）、分散、標準偏差 「情報リテラシー入門Ⅱ」(2回目） ・相関係数、相関関係と因果関係「情報リテラシー入門Ⅱ」(3回目）
	1-7	・アルゴリズムの表現（フローチャート）「情報リテラシー入門Ⅰ」(6回目） ・探索アルゴリズム、リスト探索、木探索 「情報リテラシー入門Ⅰ」(6回目） ・並び替え（ソート）、探索（サーチ）「情報リテラシー入門Ⅱ」(2回目）
	2-2	・コンピュータで扱うデータ（数値、文章、画像、音声、動画など）「データリテラシー入門」(2回目） ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード 「データリテラシー入門」(1回目） ・コンピュータで扱うデータ（数値、文章、画像、音声、動画など）「データリテラシー入門プラス」（4回目） ・構造化データ、非構造化データ「データリテラシー入門プラス」（4回目） ・情報量の単位（ビット、バイト）、二進数、文字コード「データリテラシー入門プラス」（4回目） ・配列、木構造（ツリー）、グラフ「データリテラシー入門プラス」（4回目） ・コンピュータで扱うデータ「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」（1回目） ・構造化データ、非構造化データ「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」（1回目） ・コンピュータで扱うデータ（数値、文章、画像、音声、動画など）「情報リテラシー入門Ⅰ」(2回目） ・情報量の単位（ビット、バイト）、二進数、文字コード 「情報リテラシー入門Ⅰ」(6回目） ・配列、木構造（ツリー）、グラフ 「情報リテラシー入門Ⅱ」(1回目、2回目）
	2-7	・文字型、整数型、浮動小数点型「データリテラシー入門プラス」（3回目、5回目） ・変数、代入、四則演算、論理演算「データリテラシー入門プラス」（3回目、5回目） ・関数、引数、戻り値「データリテラシー入門プラス」（3回目、5回目）
	1-1	・データサイエンス活用事例 「データリテラシー入門」（7回目） ・データ駆動型社会、Society 5.0「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・データサイエンス活用事例「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・データを活用した新しいビジネスモデル「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・データサイエンス活用事例「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」（1回目） ・データサイエンス活用事例 「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目）
	1-2	・データ分析の進め方、仮説検証サイクル 「データリテラシー入門」(2回目、8回目） ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・分析目的の設定「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・様々なデータ分析手法「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・様々なデータ可視化手法「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・データの収集、加工、分割/統合「データリテラシー入門プラス」（2回目） ・データ分析の進め方、様々なデータ分析手法、データの収集、加工「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」（1～5回目） ・様々なデータ分析手法 「情報リテラシー入門Ⅰ」(6回目） ・様々なデータ分析手法 「情報リテラシー入門Ⅱ」(3回目） ・データの収集、加工、分割/統合 「情報リテラシー入門Ⅱ」(1回目、2回目）
	2-1	・ICT（情報通信技術）の進展、ビッグデータ 「データリテラシー入門プラス」(4回目） ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス 「データリテラシー入門プラス」(4回目） ・ビッグデータ活用事例 「データリテラシー入門プラス」(4回目） ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ 「データリテラシー入門プラス」(4回目） ・ソーシャルメディアデータ 「データリテラシー入門プラス」(4回目） ・ICT（情報通信技術）の進展、ビッグデータ 「情報リテラシー入門Ⅰ」(6回目） ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス 「情報リテラシー入門Ⅰ」(5回目） ・ICT（情報通信技術）の進展、ビッグデータ 「情報リテラシー入門Ⅱ」(3回目） ・ビッグデータ活用事例「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目）

(2)AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	3-1	・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム 「データリテラシー入門プラス」(2回目) ・汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI) 「データリテラシー入門プラス」(2回目) ・フレーム問題、シンボルグラウンディング問題 「データリテラシー入門プラス」(2回目) ・人間の知的活動とAI技術 「データリテラシー入門プラス」(2回目) ・AI技術の活用領域の広がり 「データリテラシー入門プラス」(2回目) ・AIの歴史、汎用AI/特化型AI「理系主題科目(データサイエンス・AI実践PBL)」(1回目) ・AIの歴史、推論、探索、トイプロブレム、エキスパートシステム 「情報リテラシー入門Ⅱ」(4回目) ・人間の知的活動とAI技術「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目) ・AI技術の活用領域の広がり「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目)
	3-2	・プライバシー保護、個人情報の取り扱い 「データリテラシー入門」(1回目) ・AI倫理、AIの社会的受容性 「データリテラシー入門」 (8回目) ・AI倫理、AIの社会的受容性「データリテラシー入門プラス」(4回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「データリテラシー入門プラス」(4回目) ・AIに関する原則/ガイドライン「データリテラシー入門プラス」(4回目) ・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「データリテラシー入門プラス」(4回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「情報リテラシー入門Ⅰ」(1回目) ・AI倫理、AIの社会的受容性「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「情報リテラシー入門Ⅱ」(4回目) ・AIの公平性、AIの信頼性、AIの説明可能性「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目)
	3-3	・実世界で進む機械学習の応用と発展「データリテラシー入門プラス」(6回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「データリテラシー入門プラス」(3回目、5回目、6回目) ・学習データと検証データ「データリテラシー入門プラス」(6回目) ・ホールドアウト法、交差検証法「データリテラシー入門プラス」(6回目) ・過学習、バイアス「データリテラシー入門プラス」(6回目) ・実世界で進む機械学習の応用と発展、機械学習、教師あり学習、交差検証法、過学習、バイアス「理系主題科目(データサイエンス・AI実践PBL)」(1～5回目) ・実世界で進む機械学習の応用と発展「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「情報リテラシー入門Ⅱ」(4回目) ・過学習、バイアス「情報リテラシー入門Ⅱ」(4回目)
	3-4	・実世界で進む深層学習の応用と革新「データリテラシー入門プラス」(6回目) ・ニューラルネットワークの原理「データリテラシー入門プラス」(6回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「データリテラシー入門プラス」(5回目、6回目) ・学習用データと学習済みモデル「データリテラシー入門プラス」(5回目、6回目) ・実世界で進む深層学習の応用と革新、学習用データと学習済みモデルバイアス「理系主題科目(データサイエンス・AI実践PBL)」(1～5回目) ・実世界で進む深層学習の応用と革新「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目) ・ニューラルネットワークの原理「情報リテラシー入門Ⅱ」(4回目)
	3-9	・AIの学習と推論、評価、再学習「データリテラシー入門プラス)」(6回目) ・AIの開発環境と実行環境「データリテラシー入門プラス)」(6回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「データリテラシー入門プラス)」(6回目) ・複数のAI技術を活用したシステム「データリテラシー入門プラス)」(6回目) ・AIの学習と推論、評価、再学習、AIの社会実装バイアス「理系主題科目(データサイエンス・AI実践PBL)」(6～11回目) ・AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目) ・複数のAI技術を活用したシステム「情報リテラシー入門Ⅱ」(5回目)

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用 企画・実施・評価」から構成される。	Ⅰ	・単回帰分析、重回帰分析、最小二乗法 「データリテラシー入門」(5回目) ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)、構造化データ、非構造化データについての知識を踏まえて、カメラと骨格認識アプリを活用し、データの収集、および、アノテーションを行う。(2-2. データ表現、2-3. データ収集)「理系主題科目(データサイエンス・AI実践PBL)」
	Ⅱ	「理系主題科目(データサイエンス・AI実践PBL)」では以下のような内容が実施されている。 ・人間行動を識別するAIを企画・設計する。 ・カメラによる行動計測、画像処理による行動の数値化、行動データを学習する識別器の設計、行動の識別試験・評価、および行動を理解するAIを活用したサービス・アプリケーションを考案する。 ・行動に係る課題設定、問題解決に向けた計画、データ収集、データ分析、検証および価値創造を通したAIやデータサイエンスの一連の企画・開発工程をすべて経験する。

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

本プログラムは、本学に在学する全学部生を対象とした5つの共通教育科目から構成されている教育プログラムである。このプログラムでは、リテラシーレベルに引き続くものとして、各学部における専門教育の基盤をなすICT/DS/AIについての知識や考え方、実践力の基礎を身に着けることを目的としている。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容　※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月　数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目3-5「生成」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
情報リテラシー入門Ⅱ(第5回):「AIの利用例とリスク」と題し、さまざまなAIの応用事例を説明している。この中で、生成AIの一例として画像生成、機械翻訳、デジタルアシスタントなどの実例を紹介している。さらに、画像認識・画像生成のデモにより生成AIを実際に使用する機会を設けている。 生成AIの負の側面として、誤情報や不公平性について言及したり、DeepFakeが生成した動画を確認することで、利用時の留意事項について解説を行なっている。愛媛大学における生成AIの利活用に関する基本的な考え方を基本に、複数の大学での生成AIに関するガイドラインや利用に関する留意事項を比較・検討することで、適切な利活用ができるように啓発を行なっている。

様式2

愛媛大学

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度　令和5　年度

②大学等全体の男女別学生数　男性 4654 人　女性 3275 人　（ 合計 7929 人 ）

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
法文学部（その他）	1,630	365	1,520	1,529	2											1,529	101%
教育学部（教育）	682	160	640	669	0											669	105%
社会共創学部（社会）	760	180	720	747	0											747	104%
理学部（理学）	1,012	225	900	955	0											955	106%
医学部（保健）	948	170	945	686	0											686	73%
工学部（工学）	2,131	500	2,020	2,065	1											2,065	102%
農学部（農学）	764	170	700	720	0											720	103%
スーパーサイエンス特別コース	2	0	0	1	0											1	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合　計	7,929	1,770	7,445	7,372	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,372	99%

様式3

大学等名 愛媛大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数　（常勤） 935 人（非常勤） 410 人

② プログラムの授業を教えている教員数　26 人

③ プログラムの運営責任者

（責任者名） 仁科　弘重　（役職名） 学長

④ プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）

愛媛大学ICT/DS/AI 教育プログラム・ミッションチーム

（責任者名） 松浦　真也　（役職名） チームリーダー・データサイエンスセンター副センター長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

データサイエンスセンター・ミッションチーム申合せ、愛媛大学ICT/DS/AI 教育プログラム・ミッションチーム認定書

⑥ 体制の目的

愛媛大学データサイエンスセンターは、データサイエンス（以下DS）・AIについての利活用能力を有する人材の育成を支援することを目的に、全学的に展開するデータリテラシー教育、各学部で開講するデータ応用基礎教育、研究科で実施する高度DS教育など、本学および地域における様々なレベルに応じたDSに係る教育機会を整備・提供することとしている。

これまで行なってきたリテラシー教育の推進と改善の活動を発展させ、学生が所属する各学部における専門教育の基盤をなすICT/DS/AIについての知識や考え方、実践力の基礎を身に着けることができる教育プログラムを提供することを目的としたICT/DS/AI 教育プログラム・ミッションチームを設置している。ミッションチームはデータサイエンスセンターを中心に教育・学生支援機構の教員や技術職員から構成することで、データ駆動型社会への急速なシフトに柔軟に対応できる組織としている。

⑦ 具体的な構成員

ICT/DS/AI 教育プログラム・ミッションチームリーダー
理学部　教授　CDSE（兼）副センター長　松浦　真也
ICT/DS/AI 教育プログラム・ミッションチームメンバー
工学部　教授　CDSE（兼）運営委員　二宮　崇
理学部　教授　CDSE（兼）　尾國　新一
CDSE　教授・運営委員　本田　理恵
教育学部　准教授　CDSE（兼）・運営委員　原本　博史
CDSE　准教授・運営委員　石川　勲
CDSE　講師　裏　和宏
理学部　助教　CDSE（兼）　高橋　裕子
教育・学生支援機構教育企画室　副室長（兼）准教授　仲道　雅輝
情報システム課、CDSE（兼）　梅本　祥史

情報リテラシーI、II　授業担当者
工学部　講師　稲元　勉
CDSE　教授　野口　一人
工学部　講師　一色　正晴
CDSE　教授・運営委員　本田　理恵
CDSE　講師　裏　和宏
教育学部　准教授　CDSE（兼）　河村　泰之
工学部　講師　CDSE（兼）　木下　浩二
工学部　教授　CDSE（兼）運営委員　二宮　崇
CITE　教授　CDSE（兼）　阿萬　裕久
経営情報分析室 助教　CDSE（兼）　佐々木　隆志
理学部　准教授　CDSE（兼）　大塚　寛
工学部　講師　堤　三佳
工学部　教授　小林　真也
防災情報研究センター　二神　透
工学部　教授　岡本　好弘
工学部　准教授　黒田　久泰
理学部　准教授　谷　弘幸
工学部　准教授　遠藤　慶一
工学部　准教授　CDSE（兼）　甲斐　博

数学入門（データリテラシー入門）　授業担当者
理学部　教授　CDSE（兼）センター長　平野　幹
CDSE　准教授・運営委員　石川　勲
理学部　助教　CDSE（兼）　高橋　裕子
教育学部　准教授　CDSE（兼）・運営委員　原本　博史
法文学部　教授　CDSE（兼）　三上　了

数学入門（データリテラシー入門プラス）　授業担当者
理学部　教授　CDSE（兼）センター長　平野　幹
理学部　教授　CDSE（兼）副センター長　松浦　真也
理学部　教授　CDSE（兼）　尾國　新一

理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）　授業担当者
理学部　教授　CDSE（兼）センター長　平野　幹
理学部　教授　CDSE（兼）副センター長　松浦　真也
理学部　教授　CDSE（兼）　尾國　新一
理学部　准教授　CDSE（兼）　大塚　寛

※CDSE=データサイエンスセンターの略

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和5年度実績	99%	令和6年度予定	100%	令和7年度予定	100%
令和8年度予定	100%	令和9年度予定	100%	収容定員（名）	7,445

具体的な計画

数値目標を実現するために、必修科目である「情報リテラシー入門Ⅰ」「情報リテラシー入門Ⅱ」の2科目で数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシー）に対応するよう、教育内容の大幅な変更を行なっている。また、学生からの受講需要に対応するため「データリテラシー入門」では10クラス(1クラス定員150名)、「データリテラシー入門プラス」では2クラス(1クラス定員200名)開講し、履修者数の向上に対応している。「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」については学生同士が参加し協働する中で、表現力やコミュニケーション力、問題の発見・解決に取り組むための思考力を育成することを目標としているため、夏季休業中の集中講義として開講することで、さまざまな学部から参加しやすい体制を整えている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

プログラム構成科目は全て共通教育科目として開設しており、愛媛大学の学生であれば誰でも履修登録が可能となっている。必要な予備知識等も共通教育科目の特性に鑑み、学部・学科に関係なく履修できる水準としている。

「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」は全学必修科目のため、本学の学生全員が受講するのが前提であり、それを可能とする体制が整備され安定的に運用されている。「データリテラシー入門」「データリテラシー入門プラス」については非同期型遠隔授業によって実施しており、各学部の時間割を考慮し、開講クオーター、曜日、時限の異なるクラスをバランスよく配置し、クラスサイズも需要に応じて適正に設計できている。

「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」は2年次夏季休業中に開講しており、2年前期までに上記4科目で基礎的知識を身につけた上で無理なく履修できる体制を整えている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」は全学必修科目のため、新入生に対する自動履修登録や履修指導の徹底により履修漏れを防いでいる。また、「情報リテラシー入門Ⅰ」のシラバスでは「データリテラシー入門」との関連を説明し、履修を推奨しているほか、「データリテラシー入門プラス」「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」については、CDSE兼担の教員が窓口役となり自学部の学生を中心に履修を促している。また、CDSEのWEBサイト上で「愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム（リテラシー・アドバンストリテラシー）」の目標や授業計画を広報し、シラバスの内容を補間している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

組織的な対応としては、ICT/DS/AI 教育プログラムミッションチームに、CDSE専任教員をはじめ文系から理系まで専門分野の異なる多様な教員が参画するようにしており、これにより、予備知識や学問的興味の異なる多様な学生たちに対し、それぞれに見合ったサポートができる体制となっている。

技術面での対応としては、eラーニングシステムのMoodle上に教材を蓄積し、学生が自身の理解度に応じ、いつでもじっくり予復習可能な環境を構築している。教材の中で、学生の身近な話題や関心事を具体例として取り上げるなど、学習動機の向上につながる内容を盛り込んでおり、これにより、できる限り多くの学生が、意欲的に受講し、学習内容を修得できる環境を整えている。またティーチィングアシスタントを多数雇用し、各回ごとの授業目標を確実に達成できるよう受講生のサポートを行っている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

学習指導については、毎回の授業で計画定期に課題（宿題）を出題しており、課題に取り組むことで、授業時間外にも必要な学習が効果的に行える仕組みにしている。質問を受け付ける仕組みについては、多数の方法を用意し、質問しやすい環境作りに努めている。

具体的には、まず、授業時間内においては、随時、口頭での質問を受け付けている。また、授業後に自由討論の時間を確保しており、授業中にできなかった質問を聞けるようにしている。さらに、各回の課題提出に併せて、自由記述欄も設けており、そこでも質問を書き込むことができる。加えて、授業担当教員毎に、オフィスアワーを設定しており、シラバスで明示している。非同期型遠隔授業で実施している授業についても、寄せられた質問には速やかに回答するなどし、双方向性の確保に最大限の配慮を行っている。

様式4

大学等名 愛媛大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

愛媛大学データサイエンスセンター運営委員会

（責任者名）平野　幹　　（役職名）委員長・データサイエンスセンター長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	全学的に運用されている修学支援システム上のデータをもとに、教育学生支援部教育センター事務課と研究支援部情報システム課とが連携して、プログラムの履修・修得状況を管理する体制を整えている。また、同じく全学導入のコラボレーション・プラットフォームのMicrosoft Teams上で教材やアンケート結果を関係教員間で共有しているのに加え、eラーニングシステムのMoodle上でも、関係教員が当該授業のコンテンツや学生の提出課題・解答など、学修状況を随時、確認できるようになっている。月1回程度授業担当者や技術職員等によるプログラムの進捗確認も行い、プログラム改善を連続的に実施している。
学修成果	基本的な情報機器の利活用や簡単なデータの読み取りをはじめとして、データサイエンスを学ぶ意義やデータ分析のテーマを設定を通したデータの表現方法の考察など、受講生が能動的にICT/DS/AIの基礎知識を活用しているかを学修評価の観点に取り入れている。また、PythonやMatlabを利用したプログラミング実践によってデータを利活用した分析および課題解決を実践するために必要な基礎知識を学ぶ課題を設定している。授業終了後も授業アンケートの分析や開講クラスごとの成績分布や課題ごとの得点状況などの学修状況把握によって、具体的な授業改善作業を行っている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	共通教育アンケートなどを利用して理解度調査を行っている。一例として「教科書や配付資料・プリント等の教材は適切でしたか？」という質問には85%以上の受講生が適切と回答し、自由記述でも好意的なコメントを多数得ている。「授業レベルは適切でしたか？」という質問に対しても半数以上の学生が適切と回答しており、この割合を増やすよう内容の改善を行っている。「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」では独自の終了時アンケートを実施し、「自身の活動について、点数をつけるとすると何点でしょうか？」「この授業は良い授業でしたか？」を5点満点で質問したところ、平均点がそれぞれ4.06点、4.82点となっている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	学生アンケートでは「医学統計など後々の専門授業に関わってくると考えこの授業を履修したが、専門授業に限らず日常の様々な場面で役立つことがわかった」「データリテラシーをつけるために、数学的な視点から学習できる。実際の例など挙げることで情報を多角的な視点から考察できるようになる」「他の人と意見を交換し、発想を共有することで新たなアイディアが生まれる」など、学部教育だけでなく社会で必要となるICT/DS/AIの基礎知識や考え方に対する評価を得ている。これらの受講生の意見をデータサイエンスセンターのホームページや授業開始時等に紹介し、全学的な履修者増を促す。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	ホームページ等を利用して本教育プログラムの構成と授業内容を周知するなど、履修者・修了者数の向上に向けた広報を行っている。また、全学部必修科目である「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」のシラバスで「数学入門（データリテラシー入門）」との関連を説明し履修を推奨している。「数学入門（データリテラシー入門プラス）」では受講需要に合わせ開講クラス数を1から2へ増設している。さらに「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」が多様な人との協働による課題解決の実践機会としてより有意義な場となるよう、文系学部からの参加者を増やせるよう履修案内を強化する。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本教育プログラムは令和5年度からの修了者認定となるため、卒業生の進路状況等について今後数年をかけて確認を行う予定である。データサイエンスセンターと就職支援課では、本プログラムの修了者とその進路の対応を適切に管理する体制を整えている。卒業生が社会で必要とされるICT/DS/AIの基礎知識が身についているかについて、愛媛県内を中心とする民間企業や地方公共団体などの就職先に対してヒアリング調査を実施し、社会情勢に合致した教育プログラムとなっているかを定期的に検証する予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	データサイエンスセンターでは、CT/DS/AI教育プログラムの自己点検・評価組織でもあるCDSE運営委員会のメンバーを中心に、地元企業・自治体と、頻繁に懇談の場を設け、情報交換や意見交換を行っている。その中で、DSやAIのリテラシー教育について、本学の教育に期待することや、社会に出てから必要となる知識・能力について情報収集している。参加企業、自治体からは、CDSE の取り組みに高い期待が寄せられ、好意的に受け止められている。懇談により得られた新たな知見は、自己点検・評価を通じ、ICT/DS/AI 教育プログラムミッションチームにフィードバックし、プログラムの改善に役立てている。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本プログラムを構成する科目で共通して、DSやAIの技術が自分達に直結したものであることを意識できるよう、身近な実例を取り上げることを重視している。一例として大学内で収集されている就職率や電力などのデータの分析を通して、数学的な見方や考え方を大学生活に応用できる力の育成に努めている。また、近年の生成AIの急激な発展に伴い、適切な利活用に向けた啓発のため、愛媛大学における生成AIの利活用に関する基本的考え方に沿って、生成AIの能力と限界を取り上げている。基礎的事項の解説だけではなく、Pythonプログラミングや Matlabによるジェスチャーアプリ開発など、体験を伴う授業内容を含めている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	本プログラムの受講において必要な前提知識を全学共通レベルに抑える一方、教育水準を保証しつつ効率的に教材を作成するため、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムで提供されているeラーニング教材（応用基礎）を積極的に利用している。さらに大学の実情に合わせて必要な知識を補うため、教科書・スライド・動画教材を充実させて授業を実施している。また、ティーチングアシスタントを活用した課題のフィードバックや、Microsoft Teamsを利用した質問対応など、成績分布やアンケートの分析により、受講生が各回の授業目標が着実に達成できるようサポートを行なっている。

開講年度	開講学期	開講学部等
2023	第１クォーター	共通教育
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]
GnE1C-0CAT-016	A0545	数学入門【メディア授業科目】　Introduction to Mathematics

担当教員[ローマ字表記]	定員	曜日・時限	単位数	主要授業科目
平野　幹, 石川　勲　[HIRANO Miki, ISHIKAWA Isao]	200	月R	1	

授業科目区分	教養科目 学問分野別科目	対象学生	理一・二，医一，工二・三，農一・二	対象年次	1～9

授業題目

データリテラシー入門(Introduction to data literacy)

授業のキーワード

データ(data),データサイエンス(Data Science), 統計(Statistics)

授業の目的

データは理工分野に限らず、生物・環境・農学・医学、経済、人文科学等、あらゆる分野で実験、研究、社会調査、実績値等として収集、活用されている。多くの場合、これらのデータは処理・解釈された結果の情報として私たちへ提示される。本講義では様々な身近な情報を例として取り上げ、そのデータ（情報）を読み解いていく。これを通じ、それまで誤解していたかもしれないデータ（情報）やAIが示す結果に対する理解を深め、注意をはらうことができるようになる。

授業の到達目標

・データを利用した解釈・結論を見て、データ収集、解析、解釈それぞれの段階でどのような意図・間違い・誤解が紛れ込む可能性があるかを、具体例を挙げて説明できる
・標本調査とは何か、標本調査の結果に幅がある理由を説明できる。
・AI技術が大量のデータ（ビッグデータ）に支えられていることを理解し、その可能性と限界を説明できる

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自らの個性や適性に基づき学び続ける基本姿勢（基本姿勢）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる
客観的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる
目的達成のために多様な人と協働できる

授業概要

本授業における「データ」は、数値として得られる情報（数値化して取り扱い可能な情報も含む）と考え、データを扱い、理解する上で必要な基礎知識を学ぶ。はじめにデータにはどのようなものがあるのか、その成り立ちと解釈に分けて理解することの重要性を学ぶ。できるだけ多くの事例に接し、データ収集・データ解釈・表現・伝達の過程の何処にどのように意図・間違い・誤解が入りこむ可能性があるかを統計処理の概要に触れながら考察する。最後にデータとAIのつながりについても触れ、AIの可能性と限界について学習する。

この科目は、非同期型の遠隔授業（主にMoodleを使用）になる予定です。

授業スケジュール

１．ガイダンス：　「データ」の成り立ち、分析で何がわかるか
２．データの種類、数値の客観性　意図はどのように入り込むのか
３．基本統計量１：（グラフ、平均、分散）　データを代表する値、関数と微分積分
４．基本統計量２：（散布図、相関、因果関係）　データの関連性
５．回帰分析　予測するには、ベクトルと行列
６．推定・検定　数値はどの位信頼できるのか
７．データの信頼性、データ活用時の留意点、AI周辺技術概要、
８．AIの活用、事例と課題、まとめ（および対面の場合は試験）

授業時間外学習にかかわる情報

配布資料を熟読し、紹介するリンク等を元に出された課題に取り組むこと。また、参考書等を用いて自発的な学習に取り組むこと。

成績評価方法

各回の確認問題80%、レポート20%

出席基準を満たす回数が３分の２以上の時に評価する

受講条件

受講のルール

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	ー		ISBN	
	著者名		出版社	出版年	

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	ー		ISBN	
	著者名		出版社	出版年	

教科書・参考書に関する補足情報

学習用資料を配布します。様々なキーワードがでてくるので、適時、検索などを行うことを奨励します。

オフィスアワー

木曜12:00～12:30

Eメールアドレス

hirano.miki.mf@ehime-u.ac.jp

連絡先

理学部数学棟（理学部2号館）206

参照ホームページ

その他

実務経験のある教員による授業科目

本授業は「実務経験のある教員による授業科目」である。
情報系企業研究所、開発部門等で様々なデータの処理・解析および研究開発業務を経験。その経験から、データ収集・処理時、与えられたデータおよび解析結果を理解する際の具体的な注意・注目点を事例と共に説明する。さらにAIの可能性と限界等の具体例を例示予定。

開講年度	開講学期	開講学部等				
2023	第４クォーター	共通教育				
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]				
GnE1C-0CAT-016	D0532	数学入門【メディア授業科目】　Introduction to Mathematics				
担当教員[ローマ字表記]			定員	曜日・時限	単位数	主要授業科目
松浦　真也, 尾國　新一, 平野　幹　[MATSUURA Masaya, OGUNI Shinichi, HIRANO Miki]			200	木R	1	
授業科目区分	教養科目 学問分野別科目	対象学生	理一，医一，農一，工二	対象年次	1～9	

授業題目

データリテラシー入門プラス(Introduction to advanced data literacy)

授業のキーワード

数理科学(Mathematical Sciences), データサイエンス(Data Science), AI(AI)

授業の目的

数学入門（データリテラシー入門）では、データを扱い、理解する上で必要な基礎知識、およびデータとAIのつながりについて学びました。本授業（数学入門（データリテラシー入門プラス））では、データを利活用した分析および課題解決を実践するために必要な基礎知識を学びます。また、AIの利活用についても学びます。

授業の到達目標

・AIの歴史、応用、倫理、知的財産、データ駆動型社会について説明することができる。
・データを利活用した分析および課題解決を実践するプロセスを説明することができる。
・データを利活用した分析および課題解決のための手法を複数説明することができる。
・データを利活用した分析および課題解決のための手法を複数取り扱うことができる。
・データを利活用した分析および課題解決のために適切な手法を選択することができる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

学習活動や社会生活で必要な技能（基本技能）
問題の発見・解決に取り組むための思考力（基本的思考力）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる
客観的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる
地域や国内外の課題を自ら考察し、解決に向けて行動できる

授業概要

本授業（数学入門（データリテラシー入門プラス））では、受講生各自のパソコンを利用した演習を交え、データを利活用した分析および課題解決を実践するために必要な基礎知識を学びます。また、AIの利活用についても学びます。

この科目は非同期型の遠隔授業になりますので、Moodle でコースの教材を確認してください。なお、都合によりMoodle以外のツールを利用する可能性があります。その場合は、修学支援システム、大学のメールアドレス、Moodleのいずれかを通じて連絡をします。

授業スケジュール

第１回：導入と演習準備（Google Colaboratoryの使い方など）
第２回：データサイエンスの基礎・AIの基礎１
第３回：データを利活用した分析および課題解決の体験 １（手法A・B）
第４回：データエンジニアリングの基礎・AIの基礎２
第５回：データを利活用した分析および課題解決の体験 ２（手法C・D）
第６回：AIの基礎３
第７回：実践演習１（実データの分析）
第８回：実践演習２（分析結果のとりまとめ）

※手法A～Dでは、機械学習／多変量解析の中から、教師あり学習（代表的な例：回帰分析、決定木など）と教師なし学習（代表的な例：主成分分析、クラスタリングなど）を２種類ずつ体験します。

※AIの基礎１～３では、AIの歴史、応用、倫理、知的財産、機械学習、深層学習等について学びます。

授業時間外学習にかかわる情報

毎回、レポート課題を出題するので、期日までに取り組み、必ず提出すること。また、参考書等を用いて自発的な学習に取り組むこと。

成績評価方法

レポート課題（各回の課題及び実践演習の課題）により評価します。
出席回数が授業回数の３分の２に満たない場合には成績判定の対象となりません（単位修得は不可）。

受講条件

受講のルール

パソコンを活用して能動的に取り組むこと。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書・参考書に関する補足情報

授業内で、適宜紹介します。

オフィスアワー

火曜日 14:30～16:00

Eメールアドレス

matsuura.masaya.mx@ehime-u.ac.jp

連絡先

理学部2号館（数学棟）4階404号室

参照ホームページ

その他

本授業の演習では、標準でGoogleアカウントを利用予定です（受講生が各自で無償アカウントを取得）。予めご了承下さい。アカウントの取得方法は、初回授業で説明します。Googleアカウントを利用せず、独自にプログラミング環境を構築し、演習課題に取り組むことも可能ですが、労力を要します。

実務経験のある教員による授業科目

開講年度	開講学期	開講学部等
2023	前学期	共通教育
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]
GnE2C-0HGH-004	10752	理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）　Natural Science and Technology

担当教員[ローマ字表記]	定員	曜日・時限	単位数	主要授業科目
平野　幹, 尾國　新一, 大塚　寛, 松浦　真也　[HIRANO Miki, OGUNI Shinichi, OTSUKA Hiroshi, MATSUURA Masaya]	50	集中	2	

授業科目区分	教養科目 高年次教養科目	対象学生	全学部二回生以上	対象年次	2～

授業題目

データサイエンス・AI実践PBL(PBL of Data science and AI)

授業のキーワード

データ、データサイエンス、データエンジニアリング、AI、PBL
(Data, Data science, Data engineering, AI, PBL)

授業の目的

データサイエンス・AIによる課題解決プロセスを体験するPBLによって、データサイエンス・データエンジニアリング・AIについての学びを深める。

授業の到達目標

・データサイエンスの基礎を踏まえて、データサイエンス・AIによる課題解決に取り組むことができる。
・データエンジニアリングの基礎を踏まえて、データサイエンス・AIによる課題解決に取り組むことができる。
・AIの基礎を踏まえて、データサイエンス・AIによる課題解決に取り組むことができる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

多様な人と協働するための表現力やコミュニケーション力（基本的コミュニケーション力）
学習活動や社会生活で必要な技能（基本技能）
問題の発見・解決に取り組むための思考力（基本的思考力）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
客観的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる
目的達成のために多様な人と協働できる
自らの個性や適性を活かして行動できる
地域や国内外の課題を自ら考察し、解決に向けて行動できる

授業概要

データサイエンス・AIによる課題解決プロセスを体験するPBLによって、データサイエンス・データエンジニアリング・AIについての学びを深めます。各自が自身のノートPCを持参し、Wifiに接続して行う作業があります。

この科目は対面授業で開講する予定です（感染等の状況によっては実施形態を変更する場合があります）。

授業スケジュール

以下の計１５コマを行う。（授業日程の詳細は修学支援システム等で別途お知らせします。）

１．データサイエンス・AI概説
２．データサイエンス・AIプロジェクトの進め方
３．データサイエンス・AIプロジェクトの事例
４．データサイエンス・AIプロジェクト実践準備：講義
５．データサイエンス・AIプロジェクト実践準備：演習
６．データサイエンス・AIプロジェクト実践①：企画立案など
（グループワーク）
７．データサイエンス・AIプロジェクト実践②：試行など
（グループワーク）
８．データサイエンス・AIプロジェクト実践③：試行評価など
（グループワーク）
９．データサイエンス・AIプロジェクト実践④：データ準備など
（グループワーク）
１０．データサイエンス・AIプロジェクト実践⑤：データ分析など
（グループワーク）
１１．データサイエンス・AIプロジェクト実践⑥：成果確認など
（グループワーク）
１２．成果発表準備
（グループワーク）
１３．成果発表練習
１４．成果発表
１５．振り返り

授業時間外学習にかかわる情報

グループワークにおける、持ち帰りの分担作業など。

成績評価方法

全日程における、授業への取り組み状況（グループワーク、成果発表、振り返りなど）に基づく。本学のルールにより、出席が３分の２に満たない場合には成績判定の対象となりません（単位修得は不可）。

受講条件

全日程において、能動的な活動ができること。データサイエンス・AIに興味関心があれば、特段の知識やスキルはなくても受講可能です。

受講のルール

対面授業で開講される場合には、コロナ感染拡大防止対策を十分にとり、ノートPCを十分に充電して持参してください。グループワークを行いますので積極的に取り組みましょう。MatlabやGoogle colaboratoryなど、外部のサービスを使用することがありますので、授業担当教員の指示に従ってください。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書・参考書に関する補足情報

授業時などに適宜紹介する。

オフィスアワー

水曜日８時３０分～１０時００分

Eメールアドレス

oguni.shinichi.mb@ehime-u.ac.jp

連絡先

理学部２号館（数学棟）３階３０１号室

参照ホームページ

その他

本授業は、西日本アライアンス共同PBL（大阪大学MMDS・企業・中四国の国公私立大学など外部機関との共同PBL）に基づいています。

実務経験のある教員による授業科目

開講年度	開講学期	開講学部等				
2023	第１クォーター	共通教育				
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]				
GnE1B-0BAS-003	A0351	情報リテラシー入門Ｉ【メディア授業科目】　Introduction to IT Literacy　Ｉ				
担当教員[ローマ字表記]			定員	曜日・時限	単位数	主要授業科目
稲元　勉　[INAMOTO Tsutomu]				月1	1	
授業科目区分	基礎科目 情報リテラシー入門	対象学生	理学部一	対象年次	1～9	

授業題目

情報リテラシー入門Ｉ [Introduction to ICT Literacy　Ｉ]

授業のキーワード

情報セキュリティ(information security)，ネットワークの数理的背景(mathematical background of the network), データと情報(data and information)，データサイエンス (Data Science)

授業の目的

世の中がデータ駆動型の社会へと大きく様変わりしていることを踏まえて、データを転送するネットワークのセキュリティと数理的背景を理解した上で、コンピュータを用いてデータをどのように取得し利用するのかをデータサイエンスの重要性と共に理解する。

授業の到達目標

(1) データや情報を収集または配信する手段として、インターネットや電子メールを活用できる。
(2) セキュリティや数理的背景の知識を踏まえて、正しくネットワークを利用できる。
(3) データと情報の違いについて説明できる。
(4) ネットワークを用いたデータ取得とデータ分析の数理について説明できる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自らの個性や適性に基づき学び続ける基本姿勢（基本姿勢）
学習活動や社会生活で必要な技能（基本技能）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
自らの個性や適性を活かして行動できる

授業概要

・この科目は非同期型の遠隔授業になりますので、Moodle でコースのe-ラーニング教材を確認してください。
コンピュータ演習には MS Office 2021 を使用します。
・授業で扱う内容は、教科書の1章～7章と９章です。
1章　パソコンの基本操作
2章　情報セキュリティ
7章　情報利活用：文書作成
3章　ネットワークの利用
6章　ネットワークとネットサービス
4,5章　コンピュータ、情報とデータ
9章　情報利活用：プレゼンテーション

授業スケジュール

第1回　PC利用の基本とセキュリティ
第2回　データや情報の収集と配信
第3回　レポート作成
第4回　ネットワーク利用における安全対策
第5回　インターネットの数理的背景
第6回　データと情報の数理
第7回　プレゼンテーション資料作成
第8回　期末試験とまとめ

授業時間外学習にかかわる情報

教科書をよく読むこと、確認問題での学習、レポートの作成などが時間外学習での課題です。

成績評価方法

・期末試験で到達目標 (1),(2),(3),(4) を評価します。

受講条件

教科書は毎年改定されます。最新の教科書を購入してください。

受講のルール

【資料配布】
教科書以外で授業に必要な資料は、eラーニング教材としてMoodleで配布します。
【質問について】
各クラスにティーチングアシスタント(TA) やスチューデントアシスタント(SA)が配置されています。質問はMoodleで随時受け付けますので、質問がある場合は担当のTAあるいはSAに質問してください。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	情報リテラシー入門　2023年版			ISBN	
	著者名	日経ＢＰ社編	出版社	日経ＢＰ社	出版年	2023

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	Word 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050307
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

参考書2	書名	PowerPoint 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050321
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

教科書・参考書に関する補足情報

授業では教科書に加え、LMSで提供される全学共通のe-ラーニング教材を利用して授業を行います。また、授業で取り上げられなかった教材にも学生が自主的にアクセスして学習することができます。

オフィスアワー

火曜 16:30～17:30
※出張や会議，ゼミなどが入り居室にいないことがあります．無駄足を防ぐためには，ある程度事前にメールなどで連絡しておくこと．

Eメールアドレス

inamoto.tsutomu.na@ehime-u.ac.jp

連絡先

工学部 5 号館 10階 10-2号室

参照ホームページ

その他

実務経験のある教員による授業科目

開講年度	開講学期	開講学部等
2023	第２クォーター	共通教育
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]
GnE1B-0BAS-004	B0351	情報リテラシー入門Ⅱ【メディア授業科目】　Introduction to IT Literacy Ⅱ

担当教員[ローマ字表記]	定員	曜日・時限	単位数	主要授業科目
稲元　勉　[INAMOTO Tsutomu]		月1	1	

授業科目区分	基礎科目 情報リテラシー入門	対象学生	理学部一（1～115）	対象年次	1～9

授業題目

情報リテラシー入門Ⅱ[Introduction to ICT, Data and AI LiteracyⅡ]

授業のキーワード

データの可視化(data visualization), データの分析(data analysis), 人工知能(Artificial intelligence)

授業の目的

世の中がデータ駆動型の社会へと大きく様変わりしていることを踏まえて、データサイエンスとAIについて理解を深める。具体的には、表計算ソフトを用いたデータの可視化や実データの分析を通してデータサイエンスの基本的な活用法を理解できるようになる。また、AIの基礎的知識を習得し、AIとデータの関係を理解した上でAIが社会のどのような分野で利用され、どのようなリスクがあるか、さらにどのようなことに留意すべきかを理解することができるようになる。

授業の到達目標

(1) 表計算ソフトで、表計算と簡単なデータ処理、データの可視化ができる。
(2) 表計算ソフトによる実データの分析を通してデータサイエンスの基本的な活用ができる。
(3) AIの基礎的知識と, AIの利用分野、リスク、留意点を説明できる。
(4) Word, PowerPointを用いて自分の考えを表現できる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自らの個性や適性に基づき学び続ける基本姿勢（基本姿勢）
学習活動や社会生活で必要な技能（基本技能）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる
習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる
自らの個性や適性を活かして行動できる

授業概要

・この科目は非同期型の遠隔授業になりますので，Moodle でe-ラーニングコースの教材を確認してください。
コンピュータ演習には MS Office 2021 を使用します。
・授業で扱う内容は、教科書の5章、８章、9章です。
5章　情報とデータ
8章　情報利活用：表計算

9章　情報利活用：プレゼンテーション

授業スケジュール

第1回　データ活用のための表計算ソフト
第2回　データの可視化
第3回　実データの分析
第4回　データとAIの関わり
第5回　AIの利用とリスク
第6回　データ・AI活用事例の資料作成（Wordを利用）
第7回　データ・AI活用事例の資料作成（PowerPointを利用）
第8回　期末試験とまとめ

授業時間外学習にかかわる情報

教科書をよく読むこと、確認問題での学習、レポートの作成などが時間外学習での課題です。

成績評価方法

・レポート(60点)と期末試験(40点)で到達目標 (1),(2),(3),(4) を評価します。

受講条件

教科書は毎年改定されます。最新の教科書を購入してください。

受講のルール

【資料配布】
教科書以外で授業に必要な資料は、eラーニング教材としてMoodleで配布します。
【レポート】
Word・Excel・PowerPointの演習に関するレポートを提出してもらいます。提出されたレポートは原則として返却しません。
【質問について】
各クラスにティーチングアシスタント(TA)やスチューデントアシスタント(SA)が配置されています。質問はMoodleで随時受け付けますので、質問がある場合は担当のTAあるいはSAに質問してください。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	情報リテラシー入門　2023年版			ISBN	
	著者名	日経ＢＰ社編	出版社	日経ＢＰ社	出版年	2023

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	Word 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050307
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

参考書2	書名	Excel 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050277
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

参考書3	書名	PowerPoint 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050321
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

教科書・参考書に関する補足情報

授業では教科書に加え、Moodleで提供される全学共通のe-ラーニング教材を利用して授業を行います。また、授業で取り上げられなかった教材にも学生が自主的にアクセスして学習することができます。なお、一部教科書に記載の無い内容がありますが、e-ラーニング教材を用います。

オフィスアワー

火曜 16:30～17:30
※出張や会議，ゼミなどが入り居室にいないことがあります．無駄足を防ぐためには，ある程度事前にメールなどで連絡しておくこと.

Eメールアドレス

inamoto.tsutomu.na@ehime-u.ac.jp

連絡先

工学部 5 号館 10階 10-2号室

参照ホームページ

その他

講義では「データを扱う」を第２回目と第３回目に取り上げますが、「データを読む」「データを説明する」については『データリテラシー入門』の講義で取り上げますので、データに興味がある方は『データリテラシー入門』を受講してください。

実務経験のある教員による授業科目

（1年次） 令和5年度　前学期　共通教育科目授業時間割表

履　修　登　録　：３月２７日（月）～４月５日（水）
共通教育科目抽選　：４月６日（木）
履修登録確認・修正：４月７日（金）～４月１６日（日）

【注意1】3ページ目に記載している「履修上の注意」を必ず確認してください。　【注意2】1Qは第1クォーター、2Qは第2クォーターを示します。　【注意3】Rは時限の指定がないことを示します。　【注意4】↓↑の授業科目は、週2コマ履修する必要があります。

曜日	時限		法文	教育	社会共創	理	医	看護	農	工
月	1	1Q				A0351 情報リテラシー入門Ⅰ 稲元　勉			↓A0254～A0259 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	
		2Q				B0351 情報リテラシー入門Ⅱ 稲元　勉 （1～115）／B0352 情報リテラシー入門Ⅱ 大塚　寛 （116～　）			↓B0254～B0259 英語Ⅱ ※履修上の注意参照	
	2	1Q		10341 解析学入門 小西敏雄／10342 解析学入門 松澤友紀／10343 解析学入門 小林範之 （習熟度別）（中等教育コース数学教育専攻のみ）	↓A0201～A0206 英語Ⅰ ※履修上の注意参照		↓A0230～A0233 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	↓A0234～A0235 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	10341 解析学入門 小西敏雄／10342 解析学入門 松澤友紀／10343 解析学入門 小林範之 （習熟度別）	10161～10163 スポーツ （141～280） ※履修上の注意参照
		2Q			↓B0201～B0206 英語Ⅱ ※履修上の注意参照		↓B0230～B0233 英語Ⅱ ※履修上の注意参照	↓B0234～B0235 英語Ⅱ ※履修上の注意参照		
	3	1Q		10301 線形代数 安部利之 （中等教育コース数学教育専攻のみ）			10164～10167 スポーツ ※履修上の注意参照		A0352 情報リテラシー入門Ⅰ 野口一人	10302 線形代数Ⅰ 庭崎　隆 （1～75）／10303 線形代数Ⅰ シャクマトフ・ディミトリ （76～150）／10304 線形代数Ⅰ 山内貴光 （151～225）／10305 線形代数Ⅰ 三上雅弘 （226～300）／10306 線形代数Ⅰ 原本博史 （301～375）／10307 線形代数Ⅰ 松澤友紀 （376～450）／10308 線形代数Ⅰ 安部利之 （451～）／10309 線形代数Ⅰ 氏家　勲 （社会デザインコース）
		2Q							B0353 情報リテラシー入門Ⅱ 野口一人 （食料生産）／B0354 情報リテラシー入門Ⅱ 堤　三佳 （生命機能・生物環境）	
	4	1Q				↓A0549 数学入門（微積分入門） シャクマトフ・ディミトリ （補完授業）				↓A0236～A0244 英語Ⅰ （1～264） ※履修上の注意参照／10168～10170 スポーツ （281～420） ※履修上の注意参照
		2Q								↓B0236～B0244 英語Ⅱ （1～264） ※履修上の注意参照
	5	1Q		↓初級外国語Ⅰ ※履修上の注意参照						
		2Q		↓初級外国語Ⅱ ※履修上の注意参照						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目 A0503 環境学入門 上野秀人／A0514 生活科学入門 金子省子／A0542 社会学入門 山本和博／A0553 物理学入門 黄木景二／A0554 物理学入門 尾崎良太郎／A0555 物理学入門 河合慶有			理・医・工・農学部対象　学問分野別科目 A0502 環境学入門 古賀理和／A0505 環境学入門 恩田弥生／A0519 文学入門 寺尾勝行／A0520 文学入門 秋山英治／A0521 歴史学入門 高橋弘臣／A0545 数学入門 平野　幹	
		2Q	B0503 環境学入門 上野秀人／B0514 生活科学入門 金子省子	B0542 社会学入門 山本和博／B0553 物理学入門 黄木景二／B0554 物理学入門 尾崎良太郎／B0555 物理学入門 河合慶有		B0502 環境学入門 古賀理和／B0505 環境学入門 恩田弥生／B0519 文学入門 寺尾勝行／B0520 文学入門 秋山英治／B0521 歴史学入門 高橋弘臣／B0545 数学入門 平野　幹				
火	1	1Q								↓10321 微積分Ⅰ 安藤和典 （1～75）／↓10322 微積分Ⅰ 井上友喜 （76～150）／↓10323 微積分Ⅰ 森岡　悠 （151～225）／↓10324 微積分Ⅰ 檀　裕也 （226～300）／↓10325 微積分Ⅰ 三上雅弘 （301～375）／↓10326 微積分Ⅰ 金城総利那 （376～450）／↓10327 微積分Ⅰ 川本昌紀 （451～）／↓10328 微積分Ⅰ 三宅　洋 （社会デザインコース）
		2Q								
	2	1Q	↓A0207～A0215 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	10143 こころと健康 野本ひさ	10141 こころと健康 野本ひさ	10173～10175 スポーツ （1～140） ※履修上の注意参照／↓A0227～A0229 英語Ⅰ （141～） ※履修上の注意参照			10142 こころと健康 野本ひさ	
		2Q	↓B0207～B0215 英語Ⅱ ※履修上の注意参照			↓B0227～B0229 英語Ⅱ （141～） ※履修上の注意参照				
	3	1Q		↓A0217～A0221 英語Ⅰ ※履修上の注意参照					A0353 情報リテラシー入門Ⅰ 一色正晴 （1～264）	↓A0245～A0247 英語Ⅰ （265～352） ※履修上の注意参照／10176～10177 スポーツ （421～） ※履修上の注意参照
		2Q		↓B0217～B0221 英語Ⅱ ※履修上の注意参照		↓B0301 微積分 松浦真也 （数学・数理情報・物理）／↓B0302 微積分 尾國新一 （生物・地学）／↓B0303 微積分 山﨑義徳 （化学）			B0355 情報リテラシー入門Ⅱ 一色正晴 （1～88）／B0356 情報リテラシー入門Ⅱ 裏　和宏 （89～176）／B0357 情報リテラシー入門Ⅱ 小林真也 （177～264）	↓B0245～B0247 英語Ⅱ （265～352） ※履修上の注意参照
	4	1Q		A0354 情報リテラシー入門Ⅰ 本田理恵		↓A0222～A0226 英語Ⅰ （1～140） ※履修上の注意参照／10178～10179 スポーツ （141～） ※履修上の注意参照				↓A0248～A0253 英語Ⅰ （353～） ※履修上の注意参照
		2Q		B0358 情報リテラシー入門Ⅱ 本田理恵 （1～80）／B0359 情報リテラシー入門Ⅱ 二神　透 （81～）		↓B0222～B0226 英語Ⅱ （1～140） ※履修上の注意参照				↓B0248～B0253 英語Ⅱ （353～） ※履修上の注意参照
	5	1Q								
		2Q								
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目 A0504 環境学入門 鑓迫典久／A0506 環境学入門 山下　浩／A0507 環境学入門 川﨑章恵／A0559 化学入門 井原栄治／A0560 化学入門 小原敬士／A0561 化学入門 古賀理和			理・医・工・農学部対象　学問分野別科目 A0515 生活科学入門 郡司島宏美／A0516 生活科学入門 李　在勲／A0523 地理学入門 兼子　純／A0524 地理学入門 井口　梓／A0556 物理学入門 寺島雄一／A0557 物理学入門 長尾　透／A0558 物理学入門 松岡良樹	
		2Q	B0504 環境学入門 鑓迫典久／B0506 環境学入門 山下　浩／B0507 環境学入門 川﨑章恵／B0559 化学入門 井原栄治／B0560 化学入門 小原敬士／B0561 化学入門 古賀理和			B0515 生活科学入門 郡司島宏美／B0516 生活科学入門 李　在勲／B0523 地理学入門 兼子　純／B0524 地理学入門 井口　梓／B0556 物理学入門 寺島雄一／B0557 物理学入門 長尾　透／B0558 物理学入門 松岡良樹				
水	1	1Q	10145 こころと健康 野本ひさ （1～180）	10144 こころと健康 野本ひさ （181～）		10146 こころと健康 野本ひさ （1～160）	10144 こころと健康 野本ひさ （161～）	10147 こころと健康 野本ひさ		
		2Q								
	2	1Q								10149 こころと健康 野本ひさ （1～180）／10150 こころと健康 野本ひさ （181～340）／10148 こころと健康 野本ひさ （341～）
		2Q								
	3	1Q								
		2Q								
	4	1Q								
		2Q								
	5	1Q								
		2Q								
	6	1Q		↓初級外国語Ⅰ ※履修上の注意参照						
		2Q		↓初級外国語Ⅱ ※履修上の注意参照						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目 A0501 環境学入門 石橋弘志／A0532 政策科学入門 椿　真一／A0564 生物学入門 畑　啓生／A0565 生物学入門 小林括平／A0566 生物学入門 枝重有祐／A0567 生物学入門 橘　哲也			理・医・工・農学部対象　学問分野別科目 A0511 人間科学入門 中原ゆかり／A0525 法学入門 松本浩平／A0526 法学入門 羽月　章／A0527 法学入門 關口和徳／A0528 法学入門 不破　茂／A0529 法学入門 中曽久雄／A0543 社会学入門 近藤有希子	
		2Q	B0501 環境学入門 石橋弘志／B0532 政策科学入門 椿　真一／B0564 生物学入門 畑　啓生／B0565 生物学入門 小林括平／B0566 生物学入門 枝重有祐／B0567 生物学入門 橘　哲也			B0511 人間科学入門 中原ゆかり／B0525 法学入門 松本浩平／B0526 法学入門 羽月　章／B0527 法学入門 關口和徳／B0528 法学入門 不破　茂／B0529 法学入門 中曽久雄／B0543 社会学入門 近藤有希子				
木	1	1Q								↑A0236～A0241 英語Ⅰ （1～176） ※履修上の注意参照
		2Q								↑B0236～B0241 英語Ⅱ （1～176） ※履修上の注意参照
	2	1Q			↑A0201～A0206 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	↑A0550 数学入門（微積分入門） 大塚　寛 （補完授業）			10180～10183 スポーツ ※履修上の注意参照	
		2Q			↑B0201～B0206 英語Ⅱ ※履修上の注意参照					
	3	1Q					A0355 情報リテラシー入門Ⅰ 河村泰之		↑A0254～A0259 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	↑A0242～A0244 英語Ⅰ （177～264） ※履修上の注意参照
		2Q					B0360 情報リテラシー入門Ⅱ 河村泰之／B0361 情報リテラシー入門Ⅱ 岡本好弘		↑B0254～B0259 英語Ⅱ ※履修上の注意参照	↑B0242～B0244 英語Ⅱ （177～264） ※履修上の注意参照
	4	1Q	A0356 情報リテラシー入門Ⅰ 木下浩二	A0551 数学入門（初級微積分） 庭崎　隆 （補完授業対象者）／A0552 数学入門（初級微積分） 平出まさ子 （補完授業対象者）	10184～10187 スポーツ ※履修上の注意参照		↑A0230～A0233 英語Ⅰ ※履修上の注意参照／↑A0234～A0235 英語Ⅰ ※履修上の注意参照		A0551 数学入門（初級微積分） 庭崎　隆 （補完授業対象者）／A0552 数学入門（初級微積分） 平出まさ子 （補完授業対象者）	
		2Q	B0362 情報リテラシー入門Ⅱ 木下浩二 （1～90）／B0363 情報リテラシー入門Ⅱ 黒田久泰 （91～180）／B0364 情報リテラシー入門Ⅱ 谷　弘幸 （181～）	B0551 数学入門（初級微積分） 平出まさ子 （補完授業対象者）／B0552 数学入門（初級微積分） 庭崎　隆 （補完授業対象者）			↑B0230～B0233 英語Ⅱ ※履修上の注意参照／↑B0234～B0235 英語Ⅱ ※履修上の注意参照		B0551 数学入門（初級微積分） 平出まさ子 （補完授業対象者）／B0552 数学入門（初級微積分） 庭崎　隆 （補完授業対象者）	
	5	1Q		↑初級外国語Ⅰ ※履修上の注意参照						
		2Q		↑初級外国語Ⅱ ※履修上の注意参照						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目 A0512 人間科学入門 柴田　論／A0535 経済学入門 天野通子／A0544 社会学入門 秋丸國廣／A0547 数学入門 平野　幹／A0548 数学入門 松浦一雄／A0571 地学入門 鍔本武久			理・医・工・農学部対象　学問分野別科目 A0508 人間科学入門 山本智規／A0522 考古学入門 三吉秀充／A0533 政策科学入門 池田　文／A0534 政策科学入門 福井秀樹／A0546 数学入門 平野　幹／A0562 化学入門 石橋千英／A0563 化学入門 下元浩晃	
		2Q	B0512 人間科学入門 柴田　論／B0535 経済学入門 天野通子／B0544 社会学入門 秋丸國廣／B0547 数学入門 平野　幹／B0548 数学入門 松浦一雄／B0571 地学入門 鍔本武久			B0508 人間科学入門 山本智規／B0522 考古学入門 三吉秀充／B0533 政策科学入門 池田　文／B0534 政策科学入門 福井秀樹／B0546 数学入門 平野　幹／B0562 化学入門 石橋千英／B0563 化学入門 下元浩晃				
金	1	1Q								↑10321 微積分Ⅰ 安藤和典 （1～75）／↑10322 微積分Ⅰ 井上友喜 （76～150）／↑10323 微積分Ⅰ 森岡　悠 （151～225）／↑10324 微積分Ⅰ 檀　裕也 （226～300）／↑10325 微積分Ⅰ 三上雅弘 （301～375）／↑10326 微積分Ⅰ 金城総利那 （376～450）／↑10327 微積分Ⅰ 川本昌紀 （451～）／↑10328 微積分Ⅰ 三宅　洋 （社会デザインコース）
		2Q								
	2	1Q		↑A0217～A0221 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	A0357 情報リテラシー入門Ⅰ 二宮　崇				10188～10190 スポーツ （1～140） ※履修上の注意参照	↑A0245～A0250 英語Ⅰ （265～440） ※履修上の注意参照
		2Q		↑B0217～B0221 英語Ⅱ ※履修上の注意参照	B0365 情報リテラシー入門Ⅱ 二宮　崇 （産業マネ・産業イノ）／B0366 情報リテラシー入門Ⅱ 遠藤慶一 （環境・地域資源）	↑B0301 微積分 松浦真也 （数学・数理情報・物理）／↑B0302 微積分 尾國新一 （生物・地学）／↑B0303 微積分 山﨑義徳 （化学）				↑B0245～B0250 英語Ⅱ （265～440） ※履修上の注意参照
	3	1Q	↑A0207～A0215 英語Ⅰ ※履修上の注意参照							A0358 情報リテラシー入門Ⅰ 阿萬裕久 （265～）
		2Q	↑B0207～B0215 英語Ⅱ ※履修上の注意参照							B0367 情報リテラシー入門Ⅱ 阿萬裕久 （265～385）／B0368 情報リテラシー入門Ⅱ 甲斐　博 （386～）
	4	1Q				↑A0222～A0229 英語Ⅰ ※履修上の注意参照				↑A0251～A0253 英語Ⅰ （441～） ※履修上の注意参照
		2Q				↑B0222～B0229 英語Ⅱ ※履修上の注意参照				↑B0251～B0253 英語Ⅱ （441～） ※履修上の注意参照
	5	1Q								
		2Q								
	6	1Q		↑初級外国語Ⅰ ※履修上の注意参照						
		2Q		↑初級外国語Ⅱ ※履修上の注意参照						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目 A0517 生活科学入門 都築伸二／A0568 生物学入門 島﨑洋次／A0569 生物学入門 和田博史／A0570 生物学入門 菅原卓也／A0572 工学入門 全　現九／A0573 農学入門 関藤孝之			理・医・工・農学部対象　学問分野別科目 A0513 人間科学入門 中野広輔／A0536 経済学入門 折戸洋子／A0537 経済学入門 山口信夫／A0538 経済学入門 崔　英靖／A0539 経済学入門 園田雅江／A0540 経済学入門 曽我亘由／A0574 環境学入門 井上幹生	
		2Q	B0517 生活科学入門 都築伸二／B0568 生物学入門 島﨑洋次／B0569 生物学入門 和田博史／B0570 生物学入門 菅原卓也／B0572 工学入門 全　現九／B0573 農学入門 関藤孝之			B0513 人間科学入門 中野広輔／B0536 経済学入門 折戸洋子／B0537 経済学入門 山口信夫／B0538 経済学入門 崔　英靖／B0539 経済学入門 園田雅江／B0540 経済学入門 曽我亘由／B0574 環境学入門 井上幹生				

数学入門（データリテラシー入門）

集中講義

セメスター				
10906 ベーシック国内サービスラーニング 島上宗子	10911 SDGs-グローカル未来創成入門 小林　修	10916 愛媛大学リーダーズ・スクール 村田晋也	10917 グローバル・リーダーシップⅠ 村田晋也	10935 英語S1 中山　晃

（2年次以上）

曜日	時限		法文	教育	社会共創	理	医	農	工
月	1								
	2							10343 解析学入門 （再履修） 小林範之	
	3			10301 線形代数 （再履修） 安部利之 （中等教育コース数学教育専攻のみ）					10310 線形代数Ⅰ （再履修） 岡野 大 西川まどか / 10309 線形代数Ⅰ （再履修） 氏家 勲 （社会デザインコース）
	4								
	5	1Q	↓A0271 英語Ⅰ（再履修） ウェバー スコット				↓A0272 英語Ⅰ（再履修） ブラックバーン トラビス		↓初級外国語Ⅰ （3年次） ※履修上の注意参照
			※履修上の注意参照						
		2Q	10922 Effective Presentations スタフォード マーク		10927 Writing Strategies ダウナー イアン			10933 英語S3 ダウナー イアン ※履修上の注意参照	
		2Q	↓B0271 英語Ⅱ（再履修） ワタナベ ジェーン		↓B0272 英語Ⅱ（再履修） カドタ シルバルー		↓B0273 英語Ⅱ（再履修） トム デジ		↓初級外国語Ⅱ （3年次） ※履修上の注意参照
			※履修上の注意参照						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
		2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
火	1								↓10329 微積分Ⅰ （再履修） 伊藤 宏 / ↓10328 微積分Ⅰ （再履修） 三宅 洋 （社会デザインコース）
	2	1Q	主題探究型科目 （火2科目帯） ※科目は欄外を参照 （1～140）						主題探究型科目 （火2科目帯） ※科目は欄外を参照 （3年次）
		2Q	主題探究型科目 （火2科目帯） ※科目は欄外を参照 （141～）						主題探究型科目 （火2科目帯） ※科目は欄外を参照 （3年次）
	3								
	4								
	5		10921 Speaking & Reading Strategies マーフィー ロナルド						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
		2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
水	1								
	2								
	3								
	4								
	5		10923 Writing Workshop 中山 晃		10925 Academic Reading ウェバー スコット			10931 英語S3 ウェバー スコット ※履修上の注意参照	
	6	1Q							↓初級外国語Ⅰ （3年次） ※履修上の注意参照
		2Q							↓初級外国語Ⅱ （3年次） ※履修上の注意参照
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
		2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
木	1								
	2								
	3								
	4								
	5	1Q	↑A0271 英語Ⅰ（再履修） ウェバー スコット				↑A0272 英語Ⅰ（再履修） ブラックバーン トラビス		↑初級外国語Ⅰ （3年次） ※履修上の注意参照
			※履修上の注意参照						
		2Q	10928 Introductory Interpretation 越智美江		10934 英語S3 越智美江 ※履修上の注意参照				
		2Q	↑B0271 英語Ⅱ（再履修） ワタナベ ジェーン		↑B0272 英語Ⅱ（再履修） カドタ シルバルー		↑B0273 英語Ⅱ（再履修） トム デジ		↑初級外国語Ⅱ （3年次） ※履修上の注意参照
			※履修上の注意参照						
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
		2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
金	1								↑10329 微積分Ⅰ （再履修） 伊藤 宏 / ↑10328 微積分Ⅰ （再履修） 三宅 洋 （社会デザインコース）
	2	1Q		主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （1～80）	主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （産マネ・環境）	主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （1～115）		主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （食料）	
		2Q		主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （81～）	主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （産イノ・地域）	主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （116～）		主題探究型科目 （金2科目帯） ※科目は欄外を参照 （生命・生物）	
	3								
	4								
	5		10924 Oral Communication カワモト ジュリア		10926 Introducing Japanese Culture in English ウェバー スコット			10932 英語S3 ウェバー スコット ※履修上の注意参照	
	6	1Q							↑初級外国語Ⅰ （3年次） ※履修上の注意参照
		2Q							↑初級外国語Ⅱ （3年次） ※履修上の注意参照
	R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	
		2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照	

主題探究型科目（火2科目帯）

1Q	A0401 環境を考える 鍋嶋絵里	A0403 環境を考える ルプレヒト クリストフ	A0404 環境を考える 山下尚之	A0405 歴史を考える 東 賢司	A0407 歴史を考える 柴田昌児	A0410 ことばの世界 上場ゆり	A0412 芸術の世界 楠 俊明	A0414 芸術の世界 佐々木昌夫	A0415 芸術の世界 中川未来	A0418 地域と世界 張 貴民	A0419 地域と世界 安部真人	A0420 現代社会の諸問題 吉松靖文	A0422 現代社会の諸問題 魁生由美子	A0425 現代社会の諸問題 淡野寧彦	A0428 現代と科学技術 奥島鉄雄	A0429 現代と科学技術 山本 貴	A0432 現代と科学技術 内藤俊雄	A0436 自然のしくみ 倉本 誠	A0437 生命の不思議 阿野嘉孝	A0438 生命の不思議 賀屋秀隆	A0439 生命の不思議 片岡圭子	A0440 生命の不思議 嶋村鉄也
2Q	B0401 環境を考える 鍋嶋絵里	B0403 環境を考える ルプレヒト クリストフ	B0404 環境を考える 山下尚之	B0405 歴史を考える 東 賢司	B0407 歴史を考える 柴田昌児	B0410 ことばの世界 上場ゆり	B0412 芸術の世界 楠 俊明	B0414 芸術の世界 佐々木昌夫	B0415 芸術の世界 中川未来	B0418 地域と世界 張 貴民	B0419 地域と世界 安部真人	B0420 現代社会の諸問題 吉松靖文	B0422 現代社会の諸問題 魁生由美子	B0425 現代社会の諸問題 淡野寧彦	B0428 現代と科学技術 奥島鉄雄	B0429 現代と科学技術 山本 貴	B0432 現代と科学技術 内藤俊雄	B0436 自然のしくみ 倉本 誠	B0437 生命の不思議 阿野嘉孝	B0438 生命の不思議 賀屋秀隆	B0439 生命の不思議 片岡圭子	B0440 生命の不思議 嶋村鉄也

主題探究型科目（金2科目帯）

1Q	A0402 環境を考える 李 賢映	A0406 歴史を考える 胡 光	A0409 ことばの世界 三浦優生	A0443 ことばの世界 青木亮人	A0411 芸術の世界 徳田明仁	A0413 芸術の世界 安積京子	A0416 地域と世界 栗田英幸	A0417 地域と世界 ヒヂインダ アドリアナ	A0423 現代社会の諸問題 朝井志歩	A0424 現代社会の諸問題 倉内慎也	A0430 現代と科学技術 樋上喜信	A0431 現代と科学技術 朱 霞	A0434 自然のしくみ 齊藤 哲	A0435 自然のしくみ 鍛冶澤 賢	A0442 生命の不思議 渡邉誠也
2Q	B0402 環境を考える 李 賢映	B0406 歴史を考える 胡 光	B0409 ことばの世界 三浦優生	B0443 ことばの世界 青木亮人	B0411 芸術の世界 徳田明仁	B0413 芸術の世界 安積京子	B0416 地域と世界 栗田英幸	B0417 地域と世界 ヒヂインダ アドリアナ	B0423 現代社会の諸問題 朝井志歩	B0424 現代社会の諸問題 倉内慎也	B0430 現代と科学技術 樋上喜信	B0431 現代と科学技術 朱 霞	B0434 自然のしくみ 齊藤 哲	B0435 自然のしくみ 鍛冶澤 賢	B0442 生命の不思議 渡邉誠也

集中講義

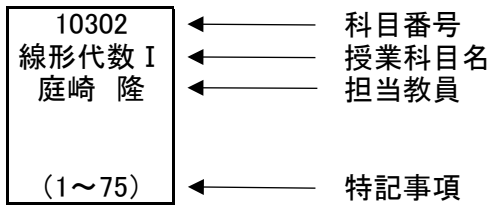
1Q	A0381 愛媛学 （再履修） 秋丸國廣	A0701 文系主題科目 守田逸人	A0702 文系主題科目 高畑貴志	A0703 文系主題科目 森田佐知子	A0704 文系主題科目 福井昌則	A0705 文系主題科目 竹口幸志	A0706 理系主題科目 林 敏浩	A0751 文系主題科目 ヒヂインダ アドリアナ													
2Q												B0461 地域と世界 松村暢彦	B0462 現代社会の諸問題 高橋志野	B0464 現代社会の諸問題 和田寿博	B0701 文系主題科目 藤本憲市	B0702 文系主題科目 渡邊史郎	B0703 文系主題科目 金西計英	B0704 理系主題科目 林 敏浩	B0705 理系主題科目 末永慶寛	B0706 理系主題科目 宮下晃一	B0751 文系主題科目 西村勝志	B0752 文系主題科目 杉森正敏

セメスター																	
10701 文系主題科目 余郷裕次	10702 文系主題科目 岩崎保道	10703 理系主題科目 佐々浩司	10704 理系主題科目 村山雅史	10751 文系主題科目 高橋平徳	10752 理系主題科目 平野 幹	10753 文系主題科目 長井偉訓	10754 文系主題科目 古賀理和	10755 文系主題科目 小田敬美	10756 理系主題科目 二神 透	10757 文系主題科目 阿部光伸	10758 文系主題科目 阿部光伸	10901 環境防災学 二神 透	10907 アドバンスド国内サービスラーニング 島上宗子	10912 環境ESD指導者養成講座Ⅱ 小林 修	10929 Studying English Abroad Ⅰ 中山 晃	10935 英語S1 中山 晃	

理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）

備　考

1. 授業科目記載例



2. 科目の色分け

- ・・・　こころと健康
- ・・・　スポーツ
- ・・・　英語
- ・・・　数学
- ・・・　情報リテラシー入門
- ・・・　愛媛学
- ・・・　主題探究型科目
- ・・・　学問分野別科目
- ・・・　初修外国語
- ・・・　高年次教養科目
- ・・・　高年次教養科目（知プラe科目）
- ・・・　発展科目

3. 授業時間

第1時限	8:30	～	10:00
第2時限	10:20	～	11:50
第3時限	12:40	～	14:10
第4時限	14:30	～	16:00
第5時限	16:20	～	17:50
第6時限	18:00	～	19:30

履修上の注意

1. **「新入生セミナーA」「新入生セミナーB」**及び**専門教育科目**は、所属学部の履修指導に従って履修登録してください。

2. **「スポーツ」**は、シラバスと修学支援システム履修登録画面または共通教育センターHP「在学生はこちら」の『令和5年度前学期「スポーツ」の履修について』を参照し、履修登録してください。

3. **英語**
（1）　**「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」**は、別紙「クラス分け一覧」でも該当するクラスを確認しておいてください。
（2）**再履修について**
　再履修用の「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を履修登録してください。登録後、人数調整のためクラスが変更される場合があります。結果は、4月7日（金）以降に修学支援システムで確認してください。（これによる学生自身での履修登録の変更は不要です。）なお、共通教育掲示板と英語教育センター事務室にも結果を掲示します。
（3）　**「英語S3」**は、履修制限があります。シラバスを確認の上、履修登録してください。登録者数が人数制限を超えている場合は、「英語プロフェッショナル養成コース登録者」を優先します。受講者の決定は、4月7日（金）以降に修学支援システムで確認してください。（これによる学生自身での履修登録の変更は不要です。）なお、共通教育掲示板と英語教育センター事務室にも結果を掲示します。
（4）　**「英語S1」**は、夏季休業中に実施する短期語学研修です。Webでの履修登録はできません。詳細は、英語教育センター事務室に問い合わせてください。

4. **情報リテラシー入門の再履修について**
　「情報リテラシー入門Ⅰ」または**「情報リテラシー入門Ⅱ」**を再履修する場合は、希望する曜日時限のクラスを履修登録してください。

5. **数学**は、所属学部の指示に従って履修登録してください。

6. **教養科目の抽選について**
　受講者数は、主題探究型科目と初修外国語は数十人程度、学問分野別科目は100～200人程度としています。また、高年次教養科目の一部にも受講者数に制限のある科目があります。履修登録者数が定員を超過した科目は、4月6日（木）に抽選を行います。4月7日（金）に必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は他の科目を再登録してください。なお、履修登録の状況によっては、抽選時に1年生を優先する場合があります。

7. **初修外国語**
　修学支援システム履修登録場面または共通教育センターHPに掲載している「初修外国語一覧」を参照し、週2回（月5・木5または水6・金6）開講される同一言語のⅠとⅡをセットで履修してください。

8. **集中講義**
（1）　知プラe科目と再履修科目を除く集中講義は、共通教育センターHP及び修学支援システムのお知らせ情報で実施要項を発表し、その都度受講生を募集します。
（2）　知プラe科目は、インターネットを利用したe-Learning授業です。修学支援システムでの履修登録の他にMoodleの手続きが必要です。詳しい手続き方法は、大学連携e-Learning教育支援センター四国HP内（https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp）の「愛媛大学学生向け履修案内」を確認してください。

9. **その他**
（1）　**共通教育科目の授業形態は、シラバスの「授業概要」に記載されていますので、必ず確認してください。**
（2）　**対面授業の教室は、修学支援システムで確認してください。状況によって教室変更を随時行います。変更があれば、修学支援システム及び共通教育掲示板でお知らせします。**
（3）　休講・補講は修学支援システムまたは電子掲示板で確認してください。
（4）　令和4年度以前入学の学生が共通教育科目を履修する場合は、読替表（修学支援システム履修登録画面、共通教育センターHPに掲載）に従って履修科目を選択してください。
（5）　共通教育科目の履修に関して不明な点は、共通教育チームに問合わせてください。
　　問合せ専用メールアドレス　　kyogakum@stu.ehime-u.ac.jp

共通教育科目（夜間主コース）

【前期】

区分		時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
初年次科目	こころと健康	10151	こころと健康	野本　ひさ	2	1	火	7		
	スポーツ	10171	スポーツ	市河　勉	1	1	月	7		
		10172	スポーツ	中川　雅智	1	1	月	7		

【１Q】

区分			時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
基礎科目	英語		A0260	英語Ⅰ	ワタナベ　ジェーン	1	1	火木	6	M31	
			A0261	英語Ⅰ	ブラック　レスリー	1	1	火木	6	M23	
			A0262	英語Ⅰ	カドタ　シルバルー	1	1	火木	6	M22	
			A0274	英語Ⅰ	三浦　優生	1	2	火木	6	M33	再履修用
	情報リテラシー入門		A0359	情報リテラシー入門Ⅰ	佐々木隆志	1	1	金	7		
	愛媛学		A0381	愛媛学	秋丸　國廣	1	3	集中			再履修用（2016～2021入学生）
教養科目	主題探究型科目		A0421	社会のしくみを考える	松村　暢彦	1	2	水	7		
			A0433	自然のしくみ	上谷　浩一	1	2	水	7	共B304	
			A0441	生命の不思議	高田　裕美	1	2	水	7	共B403	
	初修外国語		A0603	初級ドイツ語Ⅰ	田島　篤史・伊藤　亮平	1	1	水金	6	M23	
			A0613	初級フランス語Ⅰ	ﾓｳﾞｪ　ｴﾘｯｸ・田和　勇希	1	1	水金	6	E41	
			A0626	初級中国語Ⅰ	宮田さつき・陳　暁華	1	1	水金	6	M32	
			A0635	初級朝鮮語Ⅰ	崔　昌玉	1	1	水金	6	M24	
	学問分野別科目	総合分野	A0506	環境学入門	山下　浩	1	1	火			
			A0501	環境学入門	石橋　弘志	1	1	水			
			A0512	人間科学入門	柴田　論	1	1	木			
			A0514	生活科学入門	金子　省子	1	1	月			
			A0517	生活科学入門	都築　伸二	1	1	金			
		社会科学分野	A0541	経済学入門	川口　和仁	1	1	土			
			A0542	社会学入門	山本　和博	1	1	月			
			A0544	社会学入門	秋丸　國廣	1	1	木			
		自然科学分野	A0547	数学入門	平野　幹	1	1	木			
			A0554	物理学入門	尾崎良太郎	1	1	月			
			A0560	化学入門	小原　敬士	1	1	火			
			A0564	生物学入門	畑　啓生	1	1	水			
			A0566	生物学入門	枝重　有祐	1	1	水			
			A0571	地学入門	鍔本　武久	1	1	木			
			A0572	工学入門	全　現九	1	1	金			
			A0573	農学入門	関藤　孝之	1	1	金			

【２Q】

区分			時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
基礎科目	英語		B0260	英語Ⅱ	池野　修	1	1	火木	6	教102	
			B0261	英語Ⅱ	折本　素	1	1	火木	6	M22	
			B0262	英語Ⅱ	アウ　パク	1	1	火木	6	M32	
			B0274	英語Ⅱ	ブラックバーン　トラビス	1	2	火木	6	M33	再履修用
	情報リテラシー入門		B0369	情報リテラシー入門Ⅱ	佐々木隆志	1	1	金	7		
教養科目	初修外国語		B0603	初級ドイツ語Ⅱ	田島　篤史・伊藤　亮平	1	1	水金	6	M23	
			B0613	初級フランス語Ⅱ	ﾓｳﾞｪ　ｴﾘｯｸ・田和　勇希	1	1	水金	6	E41	
			B0626	初級中国語Ⅱ	宮田さつき・陳　暁華	1	1	水金	6	M32	
			B0635	初級朝鮮語Ⅱ	崔　昌玉	1	1	水金	6	M24	
	学問分野別科目	総合分野	B0501	環境学入門	石橋　弘志	1	1	水			
			B0506	環境学入門	山下　浩	1	1	火			
			B0512	人間科学入門	柴田　論	1	1	木			
			B0514	生活科学入門	金子　省子	1	1	月			
			B0517	生活科学入門	都築　伸二	1	1	金			
			B0518	生活科学入門	古賀　理和	1	1	土			
		社会科学分野	B0542	社会学入門	山本　和博	1	1	月			
			B0544	社会学入門	秋丸　國廣	1	1	木			
		自然科学分野	B0547	数学入門	平野　幹	1	1	木			
			B0554	物理学入門	尾崎良太郎	1	1	月			
			B0560	化学入門	小原　敬士	1	1	火			
			B0564	生物学入門	畑　啓生	1	1	水			
			B0566	生物学入門	枝重　有祐	1	1	水			
			B0571	地学入門	鍔本　武久	1	1	木			
			B0572	工学入門	全　現九	1	1	金			
			B0573	農学入門	関藤　孝之	1	1	金			

注１）「英語Ⅰ・Ⅱ」のクラスは，指定された教員（修学支援システム履修登録画面に記載）の授業を履修してください。
注２）「スポーツ」は，シラバスと修学支援システム履修登録画面または共通教育センターHP「在学生はこちら」の『令和５年度前学期「スポーツ」の履修について』を参照し，履修登録してください。
注３）昼間開講の共通教育科目を履修する場合には，「共通教育履修案内」の「昼間開講科目履修のルール」に従って時間割を確認し，履修登録期間に履修登録をしてください。
注４）2022年度以前入学生は，2022年度までに履修した昼間開講の学問分野別科目については，共通教育履修案内の「履修のルール」に記載のある，教養科目の履修単位制限の対象となります。ただし，2023年度以降に履修する学問分野別科目は，開講曜日を問わず，夜間開講科目として履修することになるため，「履修のルール」に記載のある教養科目の履修単位制限に含みません。
注５）2022年度以前入学生は，読替表を確認してから履修登録をしてください。もし，不明な点があれば，共通教育チームに問い合わせてください。

（1年次） 令和5年度　後学期　共通教育科目授業時間割表

履　修　登　録：９月１９日(火)　～９月２４日(日)
共通教育科目　抽選：９月２５日(月)
履修登録確認・修正：９月２６日(火)　～１０月５日(木)

【注意1】3ページ目に記載している「履修上の注意」を必ず確認してください。　【注意2】3Qは第3クォーター、4Qは第4クォーターを示します。　【注意3】Rは時限の指定がないことを示します。　【注意4】↓↑の授業科目は、週2コマ履修する必要があります。

曜日	時限	Q	法文 1～140	法文 141～	教育 1～80	教育 81～	社会共創 産業マネ・環境デザイン	社会共創 産業イノ・地域資源	理 1～115	理 116～	医 医	医 看護	農 食料生産	農 生命機能・生物環境	工
月	1	3Q									↓C0230～C0233 英語Ⅲ ※履修上の注意参照	↓C0234～C0235 英語Ⅲ ※履修上の注意参照			C0361 知的財産入門 宇戸寿幸 (1～88) / C0362 知的財産入門 岩本幸治 (89～176) / C0363 知的財産入門 木下尚樹 (177～264)
月	1	4Q									↓D0230～D0231 英語Ⅳ ※履修上の注意参照	↓D0234～D0235 英語Ⅳ ※履修上の注意参照			D0351 社会力入門 野本ひさ (1～264)
月	2	3Q	主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照		主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照		↓C0201～C0206 英語Ⅲ ※履修上の注意参照		主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照		主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照		↓C0254～C0259 英語Ⅲ ※履修上の注意参照		C0364 知的財産入門 朝日 剛 (265～352) / C0365 知的財産入門 松本圭介 (353～440) / C0366 知的財産入門 神野雅文 (441～)
月	2	4Q		主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照		主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照	↓D0201～D0206 英語Ⅳ ※履修上の注意参照			主題探究型科目 （月2科目帯） ※科目は欄外を参照			↓D0254～D0259 英語Ⅳ ※履修上の注意参照		D0352 社会力入門 阿部光伸 (265～)
月	3	3Q			C0367 知的財産入門 中曽久雄				↓C0222～C0229 英語Ⅲ ※履修上の注意参照				20801～20803 スポーツと教育 ※履修上の注意参照		
月	3	4Q			D0353 社会力入門 丸山智子				↓D0222～D0229 英語Ⅳ ※履修上の注意参照		D0354 社会力入門 野本ひさ				
月	4														
月	5	3Q			↓初級外国語Ⅲ ※履修上の注意参照										
月	5	4Q			↓初級外国語Ⅳ ※履修上の注意参照										
月	R		法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目						理・医・工・農学部対象　学問分野別科目						
月	R	3Q	C0533 数学入門 平野 幹		C0538 物理学入門 寺迫智照		C0539 物理学入門 河合慶有		C0512 文学入門 田中尚子	C0513 文学入門 中根隆行		C0516 考古学入門 吉田 広		C0549 生物学入門 村上安則	
月	R	4Q	D0534 数学入門 平野 幹		D0535 数学入門 松浦真也		D0539 物理学入門 河合慶有		D0512 文学入門 田中尚子	D0513 文学入門 中根隆行		D0516 考古学入門 吉田 広		D0549 生物学入門 村上安則	
火	1	3Q			↓C0217～C0221 英語Ⅲ ※履修上の注意参照										20301 線形代数Ⅱ シャクマトフ・ディミトリ (1～75) / 20302 線形代数Ⅱ 観音幸雄 (76～150) / 20303 線形代数Ⅱ 伊藤 宏 (151～225) / 20304 線形代数Ⅱ 三上雅弘 (226～300) / 20305 線形代数Ⅱ 平田浩一 (301～375) / 20306 線形代数Ⅱ 檀 裕也 (376～450) / 20307 線形代数Ⅱ 庭崎 隆 (451～) / 20308 線形代数Ⅱ 氏家 勲 (社会デザインコース)
火	1	4Q			↓D0217～D0221 英語Ⅳ ※履修上の注意参照										
火	2	3Q			20821 教職日本国憲法 中曽 久雄										↓C0236～C0244 英語Ⅲ (1～264) ※履修上の注意参照
火	2	4Q													↓D0236～D0244 英語Ⅳ (1～264) ※履修上の注意参照
火	3	3Q	↓C0207～C0215 英語Ⅲ ※履修上の注意参照												
火	3	4Q	↓D0207～D0215 英語Ⅳ ※履修上の注意参照												
火	4	3Q													↓C0245～C0253 英語Ⅲ (265～) ※履修上の注意参照
火	4	4Q													↓D0245～D0253 英語Ⅳ (265～) ※履修上の注意参照
火	5														
火	R		法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目						理・医・工・農学部対象　学問分野別科目						
火	R	3Q	C0507 人間科学入門 穆 盛林		C0540 物理学入門 水上孝一	C0541 物理学入門 松下正史	C0542 物理学入門 山室佐益		C0505 人間科学入門 加藤哲則	C0509 生活科学入門 岸田太郎	C0521 政策科学入門 梶原克彦	C0522 政策科学入門 笹沼朋子		C0523 政策科学入門 野田裕久	
火	R	4Q	D0507 人間科学入門 穆 盛林		D0540 物理学入門 水上孝一	D0541 物理学入門 松下正史	D0542 物理学入門 山室佐益		D0505 人間科学入門 加藤哲則	D0509 生活科学入門 岸田太郎	D0521 政策科学入門 梶原克彦	D0522 政策科学入門 笹沼朋子		D0523 政策科学入門 野田裕久	
水	1														
水	2	3Q	C0369 知的財産入門 中川勝吾	C0370 知的財産入門 西脇秀一郎								C0503 人間科学入門 （ことばの世界） 上場 ゆり	C0371 知的財産入門 有馬誠一		
水	2	4Q	D0355 社会力入門 阿部光伸									D0515 言語学入門 （ことばの世界） 上場 ゆり	D0356 社会力入門 丸山智子		
水	3	3Q			20161～20164 スポーツ ※履修上の注意参照		C0372 知的財産入門 高橋 学		C0373 知的財産入門 高濱雅祥						
水	3	4Q					D0357 社会力入門 野本ひさ		D0358 社会力入門 丸山智子						
水	4														
水	5														
水	6	3Q			↓初級外国語Ⅲ ※履修上の注意参照										
水	6	4Q			↓初級外国語Ⅳ ※履修上の注意参照										
水	R		法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目						理・医・工・農学部対象　学問分野別科目						
水	R	3Q	C0502 環境学入門 久米 崇		C0544 化学入門 西脇 寿		C0545 化学入門 御崎洋二		C0510 生活科学入門 古賀理和	C0514 言語学入門 秋山正宏	C0520 法学入門 笹沼朋子	C0536 物理学入門 中本 剛		C0537 物理学入門 玉男木隆之	
水	R	4Q	D0502 環境学入門 久米 崇		D0544 化学入門 西脇 寿		D0545 化学入門 御崎洋二		D0510 生活科学入門 古賀理和	D0514 言語学入門 秋山正宏	D0520 法学入門 笹沼朋子	D0536 物理学入門 中本 剛		D0537 物理学入門 玉男木隆之	
木	1	3Q					↑C0201～C0206 英語Ⅲ ※履修上の注意参照					20822 教職日本国憲法 光信一宏			
木	1	4Q					↑D0201～D0206 英語Ⅳ ※履修上の注意参照								
木	2	3Q					主題探究型科目 （木2科目帯） ※科目は欄外を参照		↑C0222～C0229 英語Ⅲ ※履修上の注意参照				主題探究型科目 （木2科目帯） ※科目は欄外を参照		
木	2	4Q						主題探究型科目 （木2科目帯） ※科目は欄外を参照	↑D0222～D0229 英語Ⅳ ※履修上の注意参照					主題探究型科目 （木2科目帯） ※科目は欄外を参照	
木	3	3Q									↑C0230～C0233 英語Ⅲ ※履修上の注意参照	20807～20809 スポーツと教育 ※履修上の注意参照			
木	3	4Q									↑D0230～D0232 英語Ⅳ ※履修上の注意参照				
木	4	3Q										↑C0234～C0235 英語Ⅲ ※履修上の注意参照	↑C0254～C0259 英語Ⅲ ※履修上の注意参照		
木	4	4Q										↑D0234～D0235 英語Ⅳ ※履修上の注意参照	↑D0254～D0259 英語Ⅳ ※履修上の注意参照		
木	5	3Q			↑初級外国語Ⅲ ※履修上の注意参照										
木	5	4Q			↑初級外国語Ⅳ ※履修上の注意参照										
木	R		法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目						理・医・工・農学部対象　学問分野別科目						
木	R	3Q	C0504 人間科学入門 上月翔太		C0524 政策科学入門 中澤柊子	C0547 生物学入門 堀 弘幸	C0548 生物学入門 佐藤 康		C0511 生活科学入門 玉井輝之	C0518 地理学入門 渡邉敬逸	C0529 社会学入門 秋丸國廣	C0531 数学入門 平野 幹		C0543 化学入門 伊藤大道	
木	R	4Q	D0504 人間科学入門 上月翔太		D0524 政策科学入門 中澤柊子	D0547 生物学入門 堀 弘幸	D0548 生物学入門 佐藤 康		D0511 生活科学入門 玉井輝之	D0518 地理学入門 渡邉敬逸	D0530 社会学入門 秋丸國廣	D0531 数学入門 平野 幹		D0532 数学入門 松浦真也	
金	1	3Q													↑C0236～C0241 英語Ⅲ (1～176) ※履修上の注意参照
金	1	4Q													↑D0236～D0241 英語Ⅳ (1～176) ※履修上の注意参照
金	2	3Q	↑C0207～C0210 英語Ⅲ ※履修上の注意参照	20165～20167 スポーツ ※履修上の注意参照	↑C0217～C0221 英語Ⅲ ※履修上の注意参照										20311 微積分Ⅱ 井上友喜 (1～75) / 20312 微積分Ⅱ 檀 裕也 (76～150) / 20313 微積分Ⅱ 三上 雅弘 (151～225) / 20314 微積分Ⅱ 小西 敏雄 (226～300) / 20315 微積分Ⅱ 金城綸利那 (301～375) / 20316 微積分Ⅱ 伊藤 宏 (376～450) / 20317 微積分Ⅱ 柳 重則 (451～) / 20318 微積分Ⅱ 森脇 亮 (社会デザインコース)
金	2	4Q	↑D0207～D0210 英語Ⅳ ※履修上の注意参照		↑D0217～D0221 英語Ⅳ ※履修上の注意参照										
金	3	3Q	20168～20170 スポーツ ※履修上の注意参照	↑C0211～C0215 英語Ⅲ ※履修上の注意参照											↑C0242～C0247 英語Ⅲ (177～352) ※履修上の注意参照
金	3	4Q		↑D0211～D0215 英語Ⅳ ※履修上の注意参照											↑D0242～D0247 英語Ⅳ (177～352) ※履修上の注意参照
金	4	3Q									C0374 知的財産入門 小林直人				↑C0248～C0253 英語Ⅲ (353～) ※履修上の注意参照
金	4	4Q													↑D0248～D0253 英語Ⅳ (353～) ※履修上の注意参照
金	5														
金	6	3Q			↑初級外国語Ⅲ ※履修上の注意参照										
金	6	4Q			↑初級外国語Ⅳ ※履修上の注意参照										
金	R		法文・教育・社会共創学部対象　学問分野別科目						理・医・工・農学部対象　学問分野別科目						
金	R	3Q	C0508 生活科学入門 古賀理和		C0519 法学入門 松本圭史	C0550 工学入門 氏家 勲	C0551 農学入門 関藤孝之		C0506 人間科学入門 羽鳥剛史	C0525 経済学入門 橋 恵昭	C0526 経済学入門 入江賀子	C0527 経済学入門 中西泰造		C0528 経済学入門 岡本 隆	
金	R	4Q	D0508 生活科学入門 古賀理和		D0519 法学入門 松本圭史	D0550 工学入門 氏家 勲	D0551 農学入門 関藤孝之		D0506 人間科学入門 羽鳥剛史	D0525 経済学入門 橋 恵昭	D0526 経済学入門 入江賀子	D0527 経済学入門 中西泰造		D0528 経済学入門 岡本 隆	

数学入門（データリテラシー入門）：C0533／D0534（月R）、C0531／D0531（木R）
数学入門（データリテラシー入門プラス）：D0535（月R）、D0532（木R）

主題探究型科目

（月2科目帯）

Q																			
3Q	C0401 環境を考える 田中 進	C0402 環境を考える 水川薫月	C0403 環境を考える 松枝直人	C0407 倫理と思想を考える 仲道雅輝	C0409 歴史を考える 齊藤貴弘	C0410 歴史を考える 槇林啓介	C0412 歴史を考える 畑守泰子	C0413 歴史を考える 水野 卓	C0414 ことばの世界 上場 ゆり	C0418 芸術の世界 福井一真	C0419 社会のしくみを考える 松村暢彦	C0421 現代社会の諸問題 村田晋也	C0423 現代社会の諸問題 中井俊樹	C0428 現代と科学技術 吉井稔雄	C0429 現代と科学技術 保田和則	C0434 現代と科学技術 門脇一則	C0436 生命の不思議 中村依子	C0437 生命の不思議 古賀理和	C0438 生命の不思議 羽生 剛
4Q	D0401 環境を考える 田中 進	D0402 環境を考える 水川薫月	D0403 環境を考える 松枝直人	D0407 倫理と思想を考える 仲道雅輝	D0409 歴史を考える 齊藤貴弘	D0410 歴史を考える 槇林啓介	D0412 歴史を考える 畑守泰子	D0413 歴史を考える 水野 卓	D0414 ことばの世界 上場 ゆり	D0418 芸術の世界 福井一真	D0419 社会のしくみを考える 松村暢彦	D0421 現代社会の諸問題 村田晋也	D0423 現代社会の諸問題 中井俊樹	D0428 現代と科学技術 吉井稔雄	D0429 現代と科学技術 保田和則	D0434 現代と科学技術 門脇一則	D0436 生命の不思議 中村依子	D0437 生命の不思議 古賀理和	D0438 生命の不思議 羽生 剛

（木2科目帯）

Q																	
3Q	C0404 環境を考える 竹内一郎	C0405 環境を考える 吉冨博之	C0406 環境を考える 杉元宏行	C0408 倫理と思想を考える 山本興志隆	C0411 歴史を考える 笹田朋孝	C0415 ことばの世界 井上 彰	C0416 ことばの世界 西 耕生	C0422 現代社会の諸問題 野崎賢也	C0424 現代社会の諸問題 山口和子	C0427 芸術の世界 福富彩子	C0430 現代と科学技術 井門 俊	C0431 現代と科学技術 池田善久	C0432 現代と科学技術 中原真也	C0435 自然のしくみ 飯塚 剛	C0439 生命の不思議 武森信暁	C0440 生命の不思議 佐久間 洋	C0441 歴史を考える 森 貴子
4Q	D0404 環境を考える 竹内一郎	D0405 環境を考える 吉冨博之	D0406 環境を考える 杉元宏行	D0408 倫理と思想を考える 山本興志隆	D0411 歴史を考える 笹田朋孝	D0415 ことばの世界 井上 彰	D0416 ことばの世界 西 耕生	D0422 現代社会の諸問題 野崎賢也	D0424 現代社会の諸問題 山口和子	D0427 芸術の世界 福富彩子	D0430 現代と科学技術 井門 俊	D0431 現代と科学技術 池田善久	D0432 現代と科学技術 中原真也	D0435 自然のしくみ 飯塚 剛	D0439 生命の不思議 武森信暁	D0440 生命の不思議 佐久間 洋	D0441 歴史を考える 森 貴子

集中講義

Q				
3Q	C0461 地域と世界 羽藤堅治	C0462 社会のしくみを考える 野村信福	C0463 現代社会の諸問題 阿部光伸	C0464 社会のしくみを考える 阿部光伸

セメスター

20906 ベーシック海外サービスラーニング 島上宗子	20911 環境ESD指導者養成講座Ⅰ 小林 修	20916 ファシリテーションとリーダーシップ 仲道雅輝	10917 グローバル・リーダーシップⅠ 仲道雅輝	20917 グローバル・リーダーシップⅡ 村田晋也	20935 英語S2 三浦優生

（2年次） 令和5年度　後学期　共通教育科目授業時間割表

曜日	時限		法文	教育 学校(初等)	教育 学校(中等)・特支	社会共創	理	医	農	工
月	1									
	2									
	3						20801～20803 スポーツと教育 ※履修上の注意参照			
	4									
	5	3Q	↓C0271 英語Ⅲ(再履修) カドタ シルバルー ※履修上の注意参照			↓C0272 英語Ⅲ(再履修) アウ パク ※履修上の注意参照		↓C0273 英語Ⅲ(再履修) ブラックバーン トラビス ※履修上の注意参照		↓初級外国語Ⅲ (3年次) ※履修上の注意参照
		4Q	20924 Oral Communication　カワモト ジュリア　※履修上の注意参照							
		4Q	↓D0271 英語Ⅳ(再履修) ダッフィーマッギー ラルフ ※履修上の注意参照	↓D0272 英語Ⅳ(再履修) スタフォード マーク ※履修上の注意参照		↓D0273 英語Ⅳ(再履修) ブラック レスリー ※履修上の注意参照	↓D0274 英語Ⅳ(再履修) トム デジ ※履修上の注意参照	↓D0275 英語Ⅳ(再履修) ウェバー スコット ※履修上の注意参照	↓D0276 英語Ⅳ(再履修) カドタ シルバルー ※履修上の注意参照	↓初級外国語Ⅳ (3年次) ※履修上の注意参照
	R	3Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
		4Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
火	1									20309 線形代数Ⅱ (再履修) 小林千悟 井堀春生 / 20308 線形代数Ⅱ (再履修) 氏家 勲 (社会デザインコース)
	2									
	3			20804～20806 スポーツと教育 ※履修上の注意参照						20804～20806 スポーツと教育 ※履修上の注意参照
	4									
	5		20925 Discussion Skills　津島里佳 ※履修上の注意参照					20931 英語S3　津島里佳 ※履修上の注意参照		
	R	3Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
		4Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
水	1									
	2									
	3									
	4									
	5		20921 Speaking & Reading Strategies　マーフィー ロナルド ※履修上の注意参照							
	6	3Q								↓初級外国語Ⅲ (3年次) ※履修上の注意参照
		4Q								↓初級外国語Ⅳ (3年次) ※履修上の注意参照
	R	3Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
		4Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
木	1		20822 教職日本国憲法 光信一宏							
	2	3Q								主題探究型科目 (本2科目帯) (1～250) ※科目は欄外を参照
		4Q								主題探究型科目 (本2科目帯) (251～) ※科目は欄外を参照
	3		20807～20809 スポーツと教育 ※履修上の注意参照		20807～20809 スポーツと教育 ※履修上の注意参照		20823 教職日本国憲法 井口秀作			20823 教職日本国憲法 井口秀作
			20926 Business English　オグバマイケル サハイ　※履修上の注意参照				20932 英語S3　オグバマイケル サハイ　※履修上の注意参照			
	4									
	5	3Q	↑C0271 英語Ⅲ(再履修) カドタ シルバルー ※履修上の注意参照			↑C0272 英語Ⅲ(再履修) アウ パク ※履修上の注意参照		↑C0273 英語Ⅲ(再履修) ブラックバーン トラビス ※履修上の注意参照		↑初級外国語Ⅲ (3年次) ※履修上の注意参照
		4Q	20923 Writing Workshop　中山 晃 ※履修上の注意参照							
		4Q	↑D0271 英語Ⅳ(再履修) ダッフィーマッギー ラルフ ※履修上の注意参照	↑D0272 英語Ⅳ(再履修) スタフォード マーク ※履修上の注意参照		↑D0273 英語Ⅳ(再履修) ブラック レスリー ※履修上の注意参照	↑D0274 英語Ⅳ(再履修) トム デジ ※履修上の注意参照	↑D0275 英語Ⅳ(再履修) ウェバー スコット ※履修上の注意参照	↑D0276 英語Ⅳ(再履修) カドタ シルバルー ※履修上の注意参照	↑初級外国語Ⅳ (3年次) ※履修上の注意参照
	R	3Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
		4Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
金	1									
	2									20319 微積分Ⅱ (再履修) 高井和幸 片岡智哉 / 20318 微積分Ⅱ (再履修) 森脇 亮 (社会デザインコース) / 20320 基礎微積分Ⅱ (再履修) 高井和幸 片岡智哉 (応化)
	3									
	4									
	5		20922 Effective Presentations　スタフォード マーク ※履修上の注意参照				20927 English For Academic Research　三浦優生 ※履修上の注意参照		20933 英語S3　三浦優生 ※履修上の注意参照	
	6	3Q								↑初級外国語Ⅲ (3年次) ※履修上の注意参照
		4Q								↑初級外国語Ⅳ (3年次) ※履修上の注意参照
	R	3Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照
		4Q								理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照

集中講義（再履修）

3Q

C0381	C0386
日本語リテラシー入門	科学技術リテラシー入門
牧山英治	宮崎 隆

4Q

D0360
社会力入門
丸山智子

集中講義 3Q

C0701	C0702	C0703	C0704	C0705	C0706	C0707	C0709	C0710	C0711	C0712	C0713	C0714	C0715	C0716	C0717	C0718	C0719	C0720	C0721	C0722	C0723	C0724	C0725	C0726	C0751	C0752	C0753
文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	理系主題科目
林 敏浩	藤本憲市	林 敏浩	金西 計英	豊田哲也	高畑貴志	高畑貴志	小島郷子	村上恭通	仲道雅輝	島上宗子	裏 和宏	寺尾 徹	後藤田 中	米谷雄介	三好康夫	藤内直道	岩本幸治	小西和彦	小林千悟	岡野 聡	河村泰之	野々村敦子	吉田秀典	石塚正秀	ビギニング アバウト	西脇秀一郎	伊藤和貴

4Q

D0701	D0702	D0703	D0704	D0751	D0752
文系主題科目	文系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	文系主題科目	文系主題科目
林 敏浩	林 敏浩	寺尾 徹	宮下晃一	赤間道夫	杉森正敏

セメスター

20701	20702	20703	20704	20705	20706	20707	20708	20709	20710	20711	20712	20713	20714	20907	20929	20935
文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	文系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	理系主題科目	アドバンスド国外サービスラーニング	Studying English Abroad Ⅱ	英語S2
金西計英	金西計英	井戸慶治	井内健介	吉田 博	竹口幸志	岩崎保道	杉田郁代	林 敏浩	金西計英	金西計英	竹口幸志	澤崎達也	伊藤和貴	島上宗子	三浦優生	三浦優生

令和5年度　後学期　共通教育科目授業時間割表

備　考

1. 授業科目記載例

20307	←― 科目番号
線形代数Ⅱ	←― 授業科目名
庭崎　隆	←― 担当教員
（451～）	←― 特記事項

2. 科目の色分け

- ・・・ スポーツ
- ・・・ 英語
- ・・・ 数学
- ・・・ 社会力入門
- ・・・ 知的財産入門・科学技術リテラシー入門・日本語リテラシー入門
- ・・・ 主題探究型科目
- ・・・ 学問分野別科目
- ・・・ 初修外国語
- ・・・ 高年次教養科目
- ・・・ 高年次教養科目（知プラe科目）
- ・・・ 教員免許に関する科目
- ・・・ 発展科目

3. 授業時間

第1時限	8:30	～	10:00
第2時限	10:20	～	11:50
第3時限	12:40	～	14:10
第4時限	14:30	～	16:00
第5時限	16:20	～	17:50
第6時限	18:00	～	19:30

履修上の注意

1. **「新入生セミナーB」**は、所属学部の履修指導に従って履修登録してください。

2. **「スポーツ」**は、シラバスと修学支援システム履修登録画面または共通教育センターHP「在学生はこちら」の「スポーツ・スポーツと教育」から、『令和5年度後学期「スポーツ」「スポーツと教育」の履修について』を参照し、履修登録してください。

3. 英語
（1）　**「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」**は、修学支援システムの履修登録画面に「クラス分け一覧」を掲載します。該当のクラスを確認し、履修登録してください。
（2）**再履修について**
再履修用の「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」を履修登録してください。登録後、人数調整のためクラスが変更される場合があります。その場合は、事務で履修登録の変更を行いますので、結果は9月26日（火）以降に修学支援システムで確認してください。なお、共通教育掲示板と英語教育センター事務室にも結果を掲示します。
（3）**「英語S3」**は、履修制限があります。シラバスを確認の上、履修登録してください。登録者数が人数制限を超えている場合は、「英語プロフェッショナル養成コース登録者」を優先します。受講者の決定は、9月26日（火）以降に修学支援システムで確認してください。（これによる学生自身での履修登録の変更は不要です。）なお、共通教育掲示板と英語教育センター事務室にも結果を掲示します。
（4）**「英語S2」**は、春季休業中に実施する短期語学研修です。Webでの履修登録はできません。詳細は、英語教育センター事務室に問い合わせてください。

4. **教養科目の抽選について**
受講者数は、主題探究型科目と初修外国語は数十人程度、学問分野別科目は100～200人程度としています。また、高年次教養科目の一部にも受講者数に制限のある科目があります。履修登録者数が定員を超過した科目は、9月25日（月）に抽選を行います。9月26日（火）に必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は他の科目を再登録してください。なお、履修登録の状況によっては、抽選時に1年生を優先する場合があります。

5. 初修外国語
原則として、**前学期に同一言語のⅠとⅡを履修していない場合は、ⅢとⅣを履修できません。**修学支援システム履修登録画面または共通教育センターHP「在学生はこちら」の「初修外国語」から、「初修外国語一覧」を参照し、週2回（月5・木5または水6・金6）開講される同一言語のⅢとⅣをセットで履修してください。

6. **教員免許に関する科目**
「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」は、教育職員免許状の取得を希望する学生以外は履修できません。履修条件の詳細は、修学支援システム履修登録画面または共通教育センターHP「在学生はこちら」の「スポーツ・スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」から、『令和5年度後学期「スポーツ」「スポーツと教育」の履修について』及び「教職日本国憲法の履修条件」で確認してください。工学部で「工業」の高等学校教諭一種免許状、または医学部で養護教諭二種免許状の取得を希望する学生が履修登録をする場合は、共通教育チームに連絡してください。（下記「8.その他」の問合せ専用メールアドレス参照）

7. **集中講義**
（1）　知プラe科目と再履修科目を除く集中講義は、共通教育センターHP及び修学支援システムのお知らせ情報で実施要項を発表し、その都度受講生を募集します。
（2）　知プラe科目は、インターネットを利用したe-Learning授業です。修学支援システムでの履修登録の他にMoodleの手続きが必要です。詳しい手続き方法は、大学連携e-Learning教育支援センター四国HP内（https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp）の「愛媛大学学生向け履修案内」を確認してください。
（3）「社会力入門」、「日本語リテラシー入門」、「科学技術リテラシー入門」の再履修は、集中講義で実施します。

8. **その他**
（1）　**共通教育科目の授業形態は、シラバスの「授業概要」に記載されていますので、必ず確認してください。**
（2）　**対面授業の教室は、修学支援システムで確認してください。状況によって教室変更を随時行います。変更があれば、修学支援システム及び共通教育掲示板でお知らせします。**
（3）　休講・補講は修学支援システムまたは電子掲示板で確認してください。
（4）　令和4年度以前入学の学生が共通教育科目を履修する場合は、読替表（修学支援システム履修登録画面、共通教育センターHPに掲載）に従って履修科目を選択してください。
（5）　共通教育科目の履修に関して不明な点は、共通教育チームに問合わせてください。
問合せ専用メールアドレス　kyogakum@stu.ehime-u.ac.jp

共通教育科目（夜間主コース）

【3Q】

区分			時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
基礎科目	英語		C0260	英語Ⅲ	オグバマイケル サハイ	1	1	火木	6	M31	
			C0261	英語Ⅲ	ウェバー スコット	1	1	火木	6	M23	
			C0262	英語Ⅲ	トム デジ	1	1	火木	6	M22	
			C0276	英語Ⅲ	スタフォード マーク	1	2	火木	6	M24	再履修用
	知的財産入門		C0368	知的財産入門	泉 日出男	1	1	月	6		
	科学技術リテラシー入門		C0386	科学技術リテラシー入門	庭崎 隆	1	4	集中			再履修用（2016~2019入学生）
教養科目	主題探究型科目		C0420	社会のしくみを考える	松岡 淳	1	1	木	7		
			C0425	現代社会の諸問題	加藤 匡宏	1	1	木	7	共B304	
			C0426	現代社会の諸問題	楢林 建司	1	1	木	7	共B403	
			C0433	現代と科学技術	片岡 智哉	1	1	木	7	PBL345(工学部2号館)	
	学問分野別科目	総合分野	C0502	環境学入門	久米 崇	1	1	水	R		
			C0504	人間科学入門	上月 翔太	1	1	木	R		
			C0507	人間科学入門	穆 盛林	1	1	火	R		
		社会科学分野	C0519	法学入門	松本 圭史	1	1	金	R		
		自然科学分野	C0533	数学入門	平野 幹	1	1	月	R		
			C0539	物理学入門	河合 慶有	1	1	月	R		
			C0541	物理学入門	松下 正史	1	1	火	R		
			C0546	化学入門	松口 正信	1	1	土	R		
			C0547	生物学入門	堀 弘幸	1	1	木	R		
			C0548	生物学入門	佐藤 康	1	1	木	R		
	初修外国語		C0603	初級ドイツ語Ⅲ	田島 篤史・伊藤 亮平	1	1	水金	6	M23	
			C0613	初級フランス語Ⅲ	モヴェ エリック・田和 勇希	1	1	水金	6	E41	
			C0626	初級中国語Ⅲ	蒋 芸軍・陳 暁華	1	1	水金	6	M32	
			C0635	初級朝鮮語Ⅲ	崔 昌玉	1	1	水金	6	M24	

【4Q】

区分			時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
基礎科目	英語		D0260	英語Ⅳ	今泉志奈子	1	1	火木	6	M23	
			D0261	英語Ⅳ	カワモト ジュリア	1	1	火木	6	M22	
			D0262	英語Ⅳ	三浦 優生	1	1	火木	6	M24	
			D0277	英語Ⅳ	ブラックバーン トラビス	1	2	火木	6	M32	再履修用
	社会力入門		D0359	社会力入門	阿部 光伸	1	1	月	6	総教305	
			D0360	社会力入門	丸山 智子	1	2	集中			再履修用
教養科目	学問分野別科目	総合分野	D0502	環境学入門	久米 崇	1	1	水	R		
			D0507	人間科学入門	穆 盛林	1	1	火	R		
		人文学分野	D0517	地理学入門	川瀬久美子	1	1	土	R		
		社会科学分野	D0519	法学入門	松本 圭史	1	1	金	R		
			D0524	政策科学入門	中澤 柊子	1	1	木	R		
		自然科学分野	D0534	数学入門	平野 幹	1	1	月	R		
			D0535	数学入門	松浦 真也	1	1	月	R		
			D0541	物理学入門	松下 正史	1	1	火	R		
			D0547	生物学入門	堀 弘幸	1	1	木	R		
			D0548	生物学入門	佐藤 康	1	1	木	R		
	初修外国語		D0603	初級ドイツ語Ⅳ	田島 篤史・伊藤 亮平	1	1	水金	6	M23	
			D0613	初級フランス語Ⅳ	モヴェ エリック・田和 勇希	1	1	水金	6	E41	
			D0626	初級中国語Ⅳ	蒋 芸軍・陳 暁華	1	1	水金	6	M32	
			D0635	初級朝鮮語Ⅳ	崔 昌玉	1	1	水金	6	M24	

注1） 「英語Ⅲ・Ⅳ」のクラスは、指定された教員（修学支援システム履修登録画面に記載）の授業を履修してください。
注2） 昼間開講の共通教育科目を履修する場合には、「共通教育履修案内」の「昼間開講科目履修のルール」に従って時間割を確認し、履修登録期間に履修登録をしてください。
注3） 2022年度以前入学生は、2022年度までに履修した昼間開講の学問分野別科目については、共通教育履修案内の「履修のルール」に記載のある、教養科目の履修単位制限の対象となります。ただし、2023年度以降に履修する学問分野別科目は、開講曜日を問わず、夜間開講科目として履修することになるため、「履修のルール」に記載のある教養科目の履修単位制限に含みません。
注4） 2022年度以前入学生は、読替表を確認してから履修登録をしてください。もし、不明な点があれば、共通教育チームに問い合わせてください。
注5）「教室」欄に記載がない科目は、遠隔での授業実施となります。シラバスで授業実施形態を確認してください。
注6）Rは時限の指定がないことを示します。

2023（令和5）年度

共通教育履修案内

※以下、共通教育履修案内より抜粋

愛媛大学共通教育センター

(2) 学問分野別科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
総合分野	環境学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-001
	人間科学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-002
	生活科学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-003
人文学分野	哲学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-004
	文学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-005
	言語学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-006
	歴史学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-007
	考古学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-008
	地理学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-009
社会科学分野	法学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-010
	政策科学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-011
	経済学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-012
	社会学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-013
	心理学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-014
自然科学分野	数学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-016
	物理学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-017
	化学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-018
	生物学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-019
	地学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-020
	工学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-021
	農学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-022

数学入門（データリテラシー入門）
数学入門（データリテラシー入門プラス）

(3) 初修外国語

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	初級ドイツ語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-001
	初級ドイツ語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-002
	初級ドイツ語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-003
	初級ドイツ語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-004
	初級フランス語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-005
	初級フランス語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-006
	初級フランス語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-007
	初級フランス語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-008
	初級中国語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-009
	初級中国語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-010
	初級中国語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-011
	初級中国語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-012
	初級朝鮮語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-013
	初級朝鮮語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-014
	初級朝鮮語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-015
	初級朝鮮語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-016

(4) 高年次教養科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	文系主題科目	1	■		GnE*C-0HGH-001
	文系主題科目	2	■		GnE*C-0HGH-002
	理系主題科目	1	■		GnE*C-0HGH-003
	理系主題科目	2	■		GnE*C-0HGH-004

理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）

(5) 教員免許に関する科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	スポーツと教育	1	×	注2	GnE*C-0TCH-001
	教職日本国憲法	2	×	注2	GnE*C-0TCH-002

履修単位表

法文学部

科目区分			学科・コース	人文社会学科 昼間主コース
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位
		新入生セミナーB		2単位
		こころと健康		2単位
		スポーツ		1単位
		小計		7単位
	基礎科目	英語		4単位
		社会力入門		1単位
		情報リテラシー入門		2単位
		知的財産入門		1単位
		小計		8単位
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
		未来思考リテラシー		1単位
		小計		2単位
	教養科目	主題探究型科目		2単位
		学問分野別科目	総合分野	12単位
			人文学分野	
			社会科学分野	
			自然科学分野	
		高年次教養科目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に関する科目	スポーツと教育	
			教職日本国憲法	
		小計		14単位
	発展科目			
	計			31単位
専門教育科目				84単位
自由選択				12単位
合計				127単位

科目区分			学科・コース	人文社会学科 夜間主コース
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位
		新入生セミナーB		2単位
		こころと健康		2単位
		スポーツ		1単位
		小計		7単位
	基礎科目	英語		4単位
		社会力入門		1単位
		情報リテラシー入門		2単位
		知的財産入門		1単位
		小計		8単位
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
		未来思考リテラシー		1単位
		小計		2単位
	教養科目	主題探究型科目		2単位
		学問分野別科目	総合分野	12単位
			人文学分野	
			社会科学分野	
			自然科学分野	
		初修外国語		
		高年次教養科目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に関する科目	スポーツと教育	
			教職日本国憲法	
		小計		14単位
	発展科目			
	計			31単位
専門教育科目				76単位
自由選択				18単位
合計				125単位

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・昼間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。
・夜間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

教育学部

課程・コース・専攻 ＼ 科目区分			学校教育教員養成課程													
			初等教育コース		中等教育コース										特別支援教育コース	
			幼年教育サブコース	小学校サブコース	国語教育	社会科教育	数学教育	理科教育	音楽教育	美術教育	保健体育	技術教育	家政教育	英語教育	小学校基礎免	中学校基礎免
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位													
		新入生セミナーB	2単位													
		こころと健康	2単位													
		スポーツ	1単位													
		小計	7単位													
	基礎科目	英語	4単位													
		数学					線形代数 2単位 解析学入門 2単位									
		社会力入門	1単位													
		情報リテラシー入門	2単位													
		知的財産入門	1単位													
		小計	8単位				12単位		8単位							
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位													
		未来思考リテラシー	1単位													
		小計	2単位													
	教養科目	主題探究型科目	2単位													
		学問分野別科目 総合分野	9単位													
		学問分野別科目 人文学分野														
		学問分野別科目 社会科学分野														
		学問分野別科目 自然科学分野														
		初修外国語														
		高年次教養科目 文系主題科目														
		高年次教養科目 理系主題科目														
		教員免許に関する科目 スポーツと教育	1単位													
		教職日本国憲法	2単位													
		小計	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位
	発展科目		(注) 参照													
	計		31単位	31単位	31単位	31単位	35単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位
専門教育科目	専門科目		93単位	87単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	96単位	95単位
自由選択			6単位	12単位	19単位	19単位	15単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	3単位	4単位
合計			130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位

(注)・「発展科目」は、卒業要件上の「自由選択」の単位となる。
・教養科目のうち主題探究型科目2単位及び教員免許に関する科目3単位を除く9単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

履修単位表

社会共創学部

科目区分 ＼ 学科				産業マネジメント学科	産業イノベーション学科	環境デザイン学科	地域資源マネジメント学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位			
		新入生セミナーB		2単位			
		こころと健康		2単位			
		スポーツ		1単位			
		小計		7単位			
	基礎科目	英語		4単位			
		社会力入門		1単位			
		情報リテラシー入門		2単位			
		知的財産入門		1単位			
		小計		8単位			
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位			
		未来思考リテラシー		1単位			
		小計		2単位			
	教養科目	主題探究型科目		2単位			
		学問分野別科目	総合分野	12単位			
			人文学分野				
			社会科学分野				
			自然科学分野				
		初修外国語					
		高年次教養科目	文系主題科目				
			理系主題科目				
		教員免許に関する科目	スポーツと教育				
			教職日本国憲法				
		小計		14単位			
	発展科目						
	計			31単位			
専門教育科目	専門科目			93単位			
合計				124単位			

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

履修単位表

理学部

科目区分 ＼ 学科			理学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位
		新入生セミナーB	2単位
		こころと健康	2単位
		スポーツ	1単位
		小計	7単位
	基礎科目	英語	4単位
		数学	微積分　2単位
		社会力入門	1単位
		情報リテラシー入門	2単位
		知的財産入門	1単位
		小計	10単位
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位
		未来思考リテラシー	1単位
		小計	2単位
	教養科目	主題探究型科目	2単位
		学問分野別科目：総合分野	12単位
		学問分野別科目：人文学分野	
		学問分野別科目：社会科学分野	
		学問分野別科目：自然科学分野	
		初修外国語	
		高年次教養科目：文系主題科目	
		高年次教養科目：理系主題科目	
		教員免許に関する科目：スポーツと教育	
		教員免許に関する科目：教職日本国憲法	
		小計	14単位
	発展科目		
	計		33単位
専門教育科目	専門科目		91単位
合計			124単位

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

医学部

科目区分 ＼ 学科			医学科	看護学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位	
		新入生セミナーB	2単位	
		こころと健康	2単位	
		スポーツ	1単位	
		小計	7単位	
	基礎科目	英語	4単位	
		社会力入門	1単位	
		情報リテラシー入門	2単位	
		知的財産入門	1単位	
		小計	8単位	
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位	
		未来思考リテラシー	1単位	
		小計	2単位	
	教養科目	主題探究型科目	2単位	2単位
		学問分野別科目 総合分野	12単位	12単位
		学問分野別科目 人文学分野		
		学問分野別科目 社会科学分野		
		学問分野別科目 自然科学分野		
		初修外国語		
		高年次教養科目 文系主題科目		
		高年次教養科目 理系主題科目		
		教員免許に関する科目 スポーツと教育		
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法		
		小計	14単位	14単位
	発展科目			
	計		31単位	31単位
専門教育科目	専門基礎科目		18単位	20単位
	専門科目		153単位	73単位
合計			202単位	124単位

(注)・看護学科で養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を履修すること（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様）。
・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

工学部

科目区分 ＼ 学科			工学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位
		新入生セミナーB	2単位
		こころと健康	2単位
		スポーツ	1単位
		小計	7単位
	基礎科目	英語	4単位
		数学	線形代数Ⅰ 2単位 線形代数Ⅱ 2単位 微積分Ⅰ 4単位 微積分Ⅱ 2単位
		社会力入門	1単位
		情報リテラシー入門	2単位
		知的財産入門	1単位
		小計	18単位
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位
		未来思考リテラシー	1単位
		小計	2単位
	教養科目	主題探究型科目	2単位
		学問分野別科目 総合分野	12単位
		学問分野別科目 人文学分野	
		学問分野別科目 社会科学分野	
		学問分野別科目 自然科学分野	
		初修外国語	
		高年次教養科目 文系主題科目	
		高年次教養科目 理系主題科目	
		教員免許に関する科目 スポーツと教育	
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法	
		小計	14単位
	発展科目		
	計		41単位
専門教育科目	工学共通基礎科目		16単位
	専門入門科目		10単位
	専門基礎科目・専門応用科目		57単位
合計			124単位

(注)・学問分野別科目の「工学入門」及び「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

農学部

科目区分 ＼ 学科				食料生産学科	生命機能学科	生物環境学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位		
		新入生セミナーB		2単位		
		こころと健康		2単位		
		スポーツ		1単位		
		小計		7単位		
	基礎科目	英語		4単位		
		数学		解析学入門　2単位		
		社会力入門		1単位		
		情報リテラシー入門		2単位		
		知的財産入門		1単位		
		小計		10単位		
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位		
		未来思考リテラシー		1単位		
		小計		2単位		
	教養科目	主題探究型科目		2単位		
		学問分野別科目	総合分野	12単位		
			人文学分野			
			社会科学分野			
			自然科学分野			
		初修外国語				
		高年次教養科目	文系主題科目			
			理系主題科目			
		教員免許に関する科目	スポーツと教育			
			教職日本国憲法			
		小計		14単位		
	発展科目					
	計			33単位		
専門教育科目	専門科目			96単位		
合計				129単位		

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

データサイエンスセンター・ミッションチーム申合せ

（令和２年３月　２６日
制　　定）

（趣旨）

第１条　この申合せは，愛媛大学データサイエンスセンター運営委員会規程第２条第３号に規定する，ミッションチーム（以下「ＭＴ」という。）に関し，必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　ＭＴとは，データサイエンスセンター（以下「センター」という。）の目的・業務に沿った具体的な活動を行う，センターが認定するセンター内組織をいう。

（組織）

第３条　ＭＴには，次の各号に掲げる職員を置く。

（１）　チームリーダー

（２）　チームメンバー

２　チームリーダーは当該ＭＴを統括し，その活動について責任を有するものとする。

３　チームリーダーは，センター員でなければならない。

４　チームメンバーは当該ＭＴの活動を分担又は協力して行うものとする。

（設置及び解散）

第４条　ＭＴの設置及び解散については，センター運営委員会がセンター員の申し出に基づき認定するものとする。

２　ＭＴの設置においては，次に掲げる事項を要件とする。

（１）　ＭＴの目的・目標を明らかにし，適切な活動計画を立てること。

（２）　ＭＴの活動について，自己点検・評価を実施すること。

（３）　ＭＴの活動について，学内外に向けて発信すること。

（４）　ＭＴの活動の進捗状況について，センター運営委員会に報告すること。

３　ＭＴの設置期間は，設置が認定された年度の末日を限度とし，次年度への更新を希望する場合には改めてセンター運営委員会の認定を受けるものとする。

（事務）

第５条　ＭＴに関する事務は，センターを所掌する事務課において処理する。

（雑則）

第６条　この申合せに定めるもののほか，ＭＴに関し必要な事項は，別に定める。

附　則

この申合せは，令和３年３月２６日から施行し，令和２年４月１日より適用する。

ミッションチーム設置申請書（継続）

令和６年４月１日

愛媛大学データサイエンスセンター長殿

理工学研究科（理学系）教授、CDSE 兼任
松浦　真也

データサイエンスセンター・ミッションチーム申合せに基づき、下記の通り、ミッションチームの設置を申請します。

記

1. 名称　ICT/DS/AI 教育プログラム・ミッションチーム
2. 目的・目標　全学的な ICT/DS/AI 教育プログラムの企画・実施・改善
3. 活動計画

主として、以下の活動を行う。

・ICT/DS/AI 教育プログラム関連科目（以下、「当該科目」という。）の開講計画の立案、開講
・当該科目についての全学的な周知、授業実施・受講者受入体制の整備
・当該科目の履修者向けサポート体制の整備
・当該科目の点検、改善

4. 構成員

松浦　真也（理学部、CDSE）　※ミッションリーダー
二宮　崇（工学部、CDSE）
原本　博史（教育学部、CDSE）
石川　勲（CDSE）
尾國　新一（理学部、CDSE）
裏　和宏（CDSE）
高橋　裕子（理学部、CDSE）
上月　翔太（教育・学生支援機構教育企画室）
梅本　祥史（情報推進課、CDSE）

5. その他

・年度末に活動状況の自己点検・評価を実施する。
・活動内容について、CDSE ホームページ等で情報発信する。
・活動の進捗状況について、毎月の CDSE 運営委員会にて報告する。

以上

令和６年４月１日

ミッションチーム設置認定書
（申請者）殿

愛媛大学データサイエンスセンター長

上記申請を許可します。

愛媛大学データサイエンスセンター運営委員会規程

（令和２年４月１日 規則第３２号）

（趣旨）

第１条　この規程は、愛媛大学データサイエンスセンター規則第６条第２項の規定に基づき、愛媛大学データサイエンスセンター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第２条　運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 愛媛大学データサイエンスセンター（以下「センター」という。）の運営に係る基本事項に関すること。

(2) センターの予算及び決算に関すること。

(3) ミッションチームの設置及び解散に関すること。

(4) センターの自己点検・評価に関すること。

(5) その他センターの運営に関すること。

（組織）

第３条　運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) センター長

(2) 副センター長（副センター長を置く場合に限る。）

(3) センター長が指名するセンター員　若干人

(4) その他センター長が必要と認めた者

２　第１項第３号及び第４号の委員の任期は、センター長がその都度定めることとし、再任を妨げない。

（委員長）

第４条　運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

２　委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

（議事）

第５条　運営委員会は、委員（代理者を含む。以下同じ。）の過半数が出席しなければ議事を開くことができない。

２　議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第６条　委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

（専門委員会）

第７条　運営委員会は、専門的事項を調査検討するため、専門委員会を置くことができる。

２　専門委員会に関する事項は、運営委員会が定める。

（事務）

第８条　運営委員会に関する事務は、情報推進課において処理する。

（雑則）

第９条　この規程に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

附　則

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３年４月１４日から施行する。

附　則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

大学等名	**愛媛大学**	申請レベル	**応用基礎レベル（大学等単位）**
教育プログラム名	愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム（アドバンストリテラシー）	申請年度	令和6年度

取組概要

愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム（アドバンストリテラシー）概要

プログラムの概要

本プログラム（アドバンストリテラシー）は、本学に在学する全学部生を対象とした５つの共通教育科目から構成されている教育プログラムです。このプログラムでは、本プログラム（リテラシー）に引き続くプログラムとして、各学部における専門教育の基盤をなすICT/DS/AIについての知識や考え方、実践力の基礎を身に着けることができます。プログラム修了者には「愛媛大学ICT/DS/AI教育プログラム（アドバンストリテラシー）修了認定証」が発行されます。

なお、本プログラムは全学部学生が受講可能な選択科目として、データサイエンスセンター（CDSE）が教育・学生支援機構と協働して企画・実施するものです。

※本プログラムは「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」（文部科学省）に認定申請予定です。

プログラムの修了要件

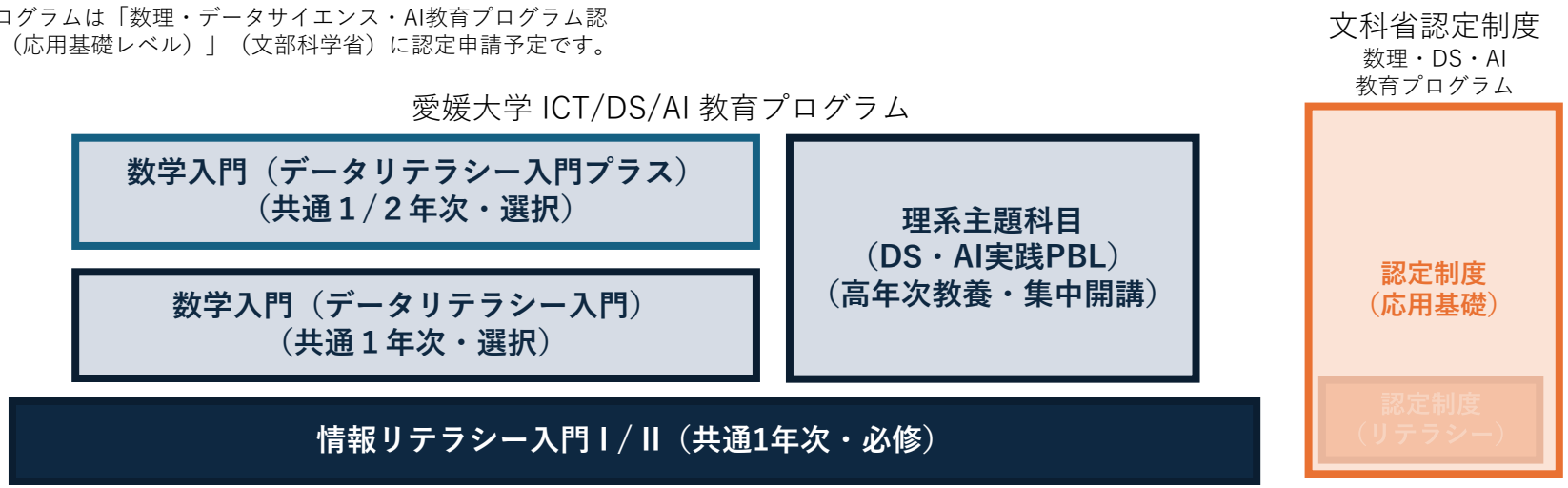
本プログラムを構成する５つの科目のすべてについて単位取得することが修了要件です。単位取得が完了した年度の年度末にプログラム修了を認定します。

なお、プログラムへの参加・修了認定に際し、申請等の手続きは不要です。単位取得完了をもって自動的に修了認定し、修了認定証を発行します。

プログラムの構成

情報リテラシー入門I/II（各１単位（必修））
数学入門（データリテラシー入門）（１単位（選択））
数学入門（データリテラシー入門プラス）（１単位（選択））
理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）（２単位（選択））

※５科目とも共通教育科目で開講されます。履修登録の際は所属学部のルールに従ってください。



愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム概要

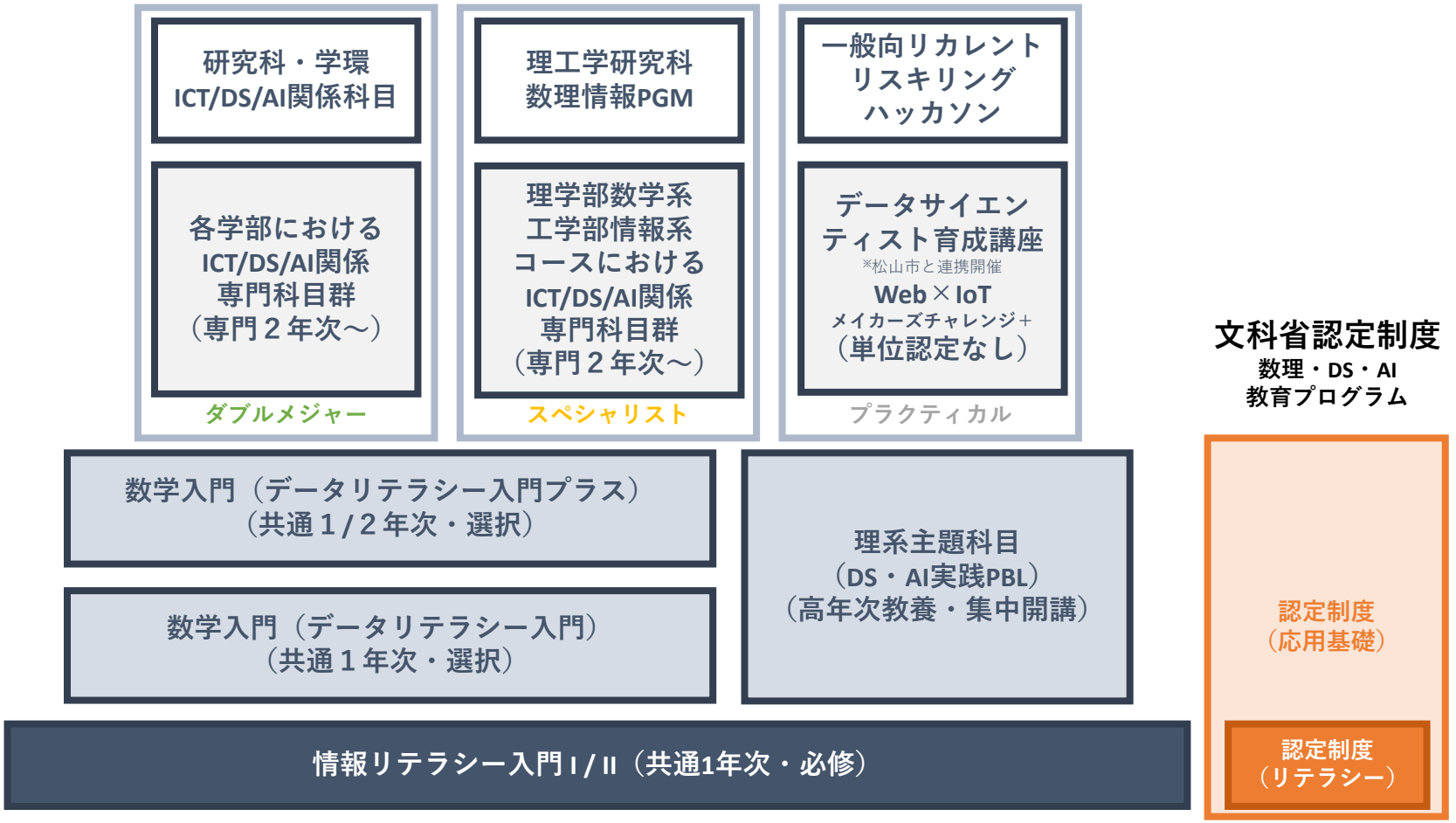
プログラムの教育目標

あらゆる産業におけるデジタル革命の進展により、社会全体がデータ駆動型に急速にシフトしています。このような現代社会で活躍するために必須なICT/DS/AIの基礎知識・考え方を誰もが身に付けることを目標としています。

プログラムの概要

本プログラムは学部・大学院等における教育課程とは別に体系づけられた、ICT/DS/AI関連科目群よりなる教育プログラムで、データサイエンスセンターが教育・学生支援機構と協働して企画・実施しています。

愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム



愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム（アドバンストリテラシー）補足

（2023年度開講の「数学入門（データリテラシー入門・データリテラシー入門プラス）」
「理系主題科目（データサイエンス・AI実践PBL）」授業内容）

授業内容（応用基礎）

2020年度から開始された愛媛大学ICT/DS/AI教育プログラムの基盤科目である情報リテラシーI/IIの2科目にデータサイエンス・AIを活用するための基礎と実践を扱う3科目を加えた5科目6単位からなる教育プログラムです。

講義で得た知識を演習を通じて体得し、それらの知見を実践的に活用することで構成されたプログラムで、どの学部で開講される専門教育においても活用されるICT/DS/AIの基礎を身に着けることができます。

1	データリテラシー入門	ガイダンス	データサイエンス・AI実践PBL	データサイエンス・AI概説
2		データの種類、数値の客観性		データサイエンス・AIプロジェクトの進め方
3		基本統計量１（グラフ、平均、分散）		データサイエンス・AIプロジェクトの事例
4		基本統計量２（散布図、相関、因果関係）		データサイエンス・AIプロジェクト実践準備
5		回帰分析		
6		推定・検定		
7		データの信頼性、データ活用時の留意点		
8		AIの活用、事例と課題、まとめ		
1(9)	データリテラシー入門プラス	導入と演習準備		データサイエンス・AIプロジェクト実践
2(10)		データサイエンスの基礎・AIの基礎1		
3(11)		データを利活用した分析および課題解決の体験１		
4(12)		データエンジニアリングの基礎・AIの基礎２		成果発表準備
5(13)		データを利活用した分析および課題解決の体験２		成果発表練習
6(14)		AIの基礎３		成果発表
7(15)		実践演習１（実データの分析）		振り返り
8		実践演習２（分析結果のとりまとめ）		

※上記は2023年度のシラバスです。教育プログラムの質向上のため、各科目の授業内容は改善されることがあります。